

教科:(理科) 科目:(実験理科) 単位数:2単位 対象:(第3学年)  
 教科担当者:(1組:佐藤 ㊟)(2組: ㊟)(3組: ㊟)(4組: ㊟)(5組: ㊟)(6組: ㊟)  
 使用教科書:  
 使用教材:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
実験に関わる科学的法則や理論などの知識を理解し、実験操作を正しく行うことができる。	実験を行う中で、科学に関わる知識を使って、事象の規則性や法則を見出したり、予想したりする。 科学的現象を表現することができ、実験の記録を行うことができる。	様々な分野を融合しながら科学的に思考し、積極性をもって探究活動に取り組む。

	指導内容 【年間授業計画】	実験理科の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月	物理実験	ロボットプログラミング	製作物の提出状況 実験の取り組みの様子	○	○	○	2
	物理実験	ロボットプログラミング	製作物の提出状況 実験の取り組みの様子	○	○	○	2
	物理実験	モーターカーを用いた実験	製作物の提出状況 実験の取り組みの様子	○	○	○	2
5月	物理実験	モーターカーを用いた実験	製作物の提出状況 実験の取り組みの様子	○	○	○	2
	物理実験	ロボットプログラミング	製作物の提出状況 実験の取り組みの様子	○	○	○	2
	物理実験	ロボットプログラミング	製作物の提出状況 実験の取り組みの様子	○	○	○	4

	指導内容 【年間授業計画】	実験理科の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月	地学実験	プラスチック容器を使った地形の立体模型作成	製作物の提出状況 実験の取り組みの様子	○	○	○	2
	地学実験	岩石の観察	実験の取り組みの様子	○	○	○	4
7月	化学実験	牛乳パックを使ったはがき作り	製作物の提出状況 実験の取り組みの様子	○	○	○	2
	地学実験	暗渠探索	実験の取り組みの様子	○	○	○	4

	指導内容 【年間授業計画】	実験理科の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	ビオトープ観察	ビオトープの生態についての観察	実験の取り組みの様子	○	○	○	2
	ビオトープ観察	ビオトープの生態についての観察	実験の取り組みの様子	○	○	○	2
	ビオトープ観察	ビオトープの生態についての観察	実験の取り組みの様子	○	○	○	2
	ビオトープ建設	ビオトープの生態についての観察	実験の取り組みの様子	○	○	○	2
	ビオトープ建設	ビオトープの生態についての観察	実験の取り組みの様子	○	○	○	2

指導内容 【年間授業計画】	実験理科の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
10月	物理実験	モーターカーを用いた実験	製作物の提出状況 実験の取り組みの様子	○	○	○	2
	物理実験	モーターカーを用いた実験	製作物の提出状況 実験の取り組みの様子	○	○	○	2
11月	物理実験	モーターカーを用いた実験	製作物の提出状況 実験の取り組みの様子	○	○	○	4
	物理実験	凝固を利用した豆腐作り	実験の取り組みの様子	○	○	○	4
	物理実験	電気分解実験	製作物の提出状況 実験の取り組みの様子	○	○	○	4
	物理実験	ロボットプログラミング	製作物の提出状況 実験の取り組みの様子	○	○	○	4

	指導内容 【年間授業計画】	実験理科の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	物理実験	ロボットプログラミング	製作物の提出状況 実験の取り組みの様子	○	○	○	3
	物理実験	ロボットプログラミング	製作物の提出状況 実験の取り組みの様子	○	○	○	3
1 月	物理実験	実験データを基にしたグラフ作成	実験の取り組みの様子	○	○	○	4
	物理実験	ソーラーバルーン	製作物の提出状況 実験の取り組みの様子	○	○	○	2
	物理実験	熱気球	製作物の提出状況 実験の取り組みの様子	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	実験理科の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
2月							
3月							

教科:(理科) 科目:(化学) 単位数:4単位 対象:(第3学年)  
 教科担当者:(1組:菅野 ㊟)(2組:㊟)(3組:㊟)(4組:㊟)(5組:㊟)(6組:㊟)  
 使用教科書:高等学校 化学(第一学習社)  
 使用教材:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
・化学基礎の内容をベースに、物質の性質や変化についての用語や科学的理論を理解する。 ・化学式や化学反応式を正しく書き表すことができる。	・知識、技能をもとに、物質の変化等の現象に関して理解、予想することができる。	・実験の際、実験器具を正しく扱い操作するとともに、得られた結果について現象の根拠を理解、説明することができる。

	指導内容 【年間授業計画】	化学の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月	有機化合物	有機化合物の特徴	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○	○		2
	有機化合物	有機化合物の特徴	授業プリント 発問に対する解答および授業態度		○	○	4
	有機化合物	脂肪族炭化水素	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○			4
5月	有機化合物	脂肪族炭化水素	授業プリント 発問に対する解答および授業態度		○		4
	有機化合物	酸素を含む脂肪族化合物	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○			4
	有機化合物	酸素を含む脂肪族化合物	授業プリント 発問に対する解答および授業態度		○		4
	有機化合物	酸素を含む脂肪族化合物	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○		○	4
	有機化合物	芳香族化合物	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○			4
	有機化合物	芳香族化合物	授業プリント 発問に対する解答および授業態度		○		4

	指導内容 【年間授業計画】	化学の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月	有機化合物	芳香族化合物	授業プリント 発問に対する解答および授業態度		○	○	4
	有機化合物	高分子化合物	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○			4
	有機化合物	天然高分子化合物	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○		○	4
7月	有機化合物	合成高分子化合物	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○		○	4
	有機化合物	学習のまとめ	授業プリント 発問に対する解答および授業態度		○		4

	指導内容 【年間授業計画】	化学の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	物質の状態変化	物質の三態 気体分子の熱運動	授業プリント 発問に対する解答および授業態度		○		4
	物質の状態変化	気体の法則 気体の状態方程式	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○		○	4
	固体の構造	化学結合と結晶の種類 金属結晶の構造 イオン結合の結晶	授業プリント 発問に対する解答および授業態度		○		4
	固体の構造	共有結合の結晶 分子結晶の構造	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○			4
	固体の構造	非晶質 学習のまとめ	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○			4
	溶液の性質	溶解と溶液 希薄溶液の性質	授業プリント 発問に対する解答および授業態度		○		4

指導内容 【年間授業計画】	化学の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
10月	溶液の性質	コロイド	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○			4
	溶液の性質	コロイド	授業プリント 発問に対する解答および授業態度		○	○	4
	化学反応と熱・光	化学反応とエンタルピー変化	授業プリント 発問に対する解答および授業態度		○		4
	化学反応と熱・光	ヘスの法則 結合エネルギー	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○			4
11月	化学反応と熱・光	化学反応と光 エントロピー	授業プリント 発問に対する解答および授業態度		○		4
	化学反応と熱・光	化学反応と光 エントロピー	授業プリント 発問に対する解答および授業態度		○		4
	電池・電気分解	電池	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○		○	4
	電池・電気分解	電気分解 電気分解の応用□ □	授業プリント 発問に対する解答および授業態度	○	○		4
	化学反応の速さ	反応速度の速さと濃度 反応速度の速さと温度 触媒	授業プリント 発問に対する解答および授業態度		○		4

指導内容 【年間授業計画】	化学の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
1 2 月	電離平衡	電離平衡と電離定数 緩衝剤と緩衝作用 溶解度積	授業プリント 発問に対する解答およ び授業態度		○		4
	無機物質	非金属元素	授業プリント 発問に対する解答およ び授業態度	○		○	4
	無機物質	典型元素	授業プリント 発問に対する解答およ び授業態度	○		○	4
	無機物質	遷移元素	授業プリント 発問に対する解答およ び授業態度	○		○	4
	無機物質	定性分離	授業プリント 発問に対する解答およ び授業態度		○		4
1 月	終章	学習のまとめ	授業プリント 発問に対する解答およ び授業態度		○	○	4
	終章	学習のまとめ	授業プリント 発問に対する解答およ び授業態度		○	○	2

指導内容 【年間授業計画】	化学の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
2月						
3月						

教科:(数学) 科目:(数学C) 単位数:2単位 対象:(第3学年)  
 教科担当者:(1組:㊟)(2組:㊟)(3組:㊟)(4組:㊟)(5組:山口 ㊟)(6組:㊟)  
 使用教科書:東京書籍  
 使用教材:数学C Standard

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学的な表現の工夫について認識を深めている。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	・大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力を身に付けている。 ・図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力を身に付けている。 ・数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表現する力を身に付けている。	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

	指導内容 【年間授業計画】	数学Cの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
				○	○	○	
4月	平面上のベクトル	平面上のベクトルを図示する活動などを通して、ベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、ベクトルの平行及び単位ベクトルについて理解する。また、実数の演算法則と関連付けてベクトルの演算法則が成り立つことを考察することができる。	知・技・思・判・表・ 態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	3
	ベクトルの分解	具体的な図形における考察を通して、ベクトルの分解とその一意性について理解する。	知・技・思・判・表・ 態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	2
5月	ベクトルの成分	平面上のベクトルが2つの実数の組で成分表示されることを平面上の点の座標と関連付けて理解する。また、成分表示を利用してベクトルの大きさを求めることや、条件を満たす単位ベクトルを成分表示することができる。さらに、ベクトルの演算や平行・分解などについての理解を深める。	知・技・思・判・表・ 態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	2
	ベクトルの内積	2つのベクトルのなす角や成分表示に関連付けて、ベクトルの内積の意味やその基本的な性質について理解し、それらの性質を用いてベクトルのなす角や大きさなどを求めることができる。	知・技・思・判・表・ 態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	3
	位置ベクトル	平面上の点の位置ベクトルについて理解し、ベクトルの演算や成分表示、内積の基本的な性質などを用いて、平面図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりすることができる。	知・技・思・判・表・ 態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	3
	ベクトル方程式	ベクトルの演算や内積の基本的な性質及び位置ベクトルの考え方をを用いて、平面上の直線や円をベクトル方程式で表現する方法について考察したり、与えられた条件を満たす点がえがく図形について考察したりすることができる。	知・技・思・判・表・ 態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	3
	空間のベクトル	空間におけるベクトルの定義や平行条件、ベクトルの分解とその一意性について、平面上のベクトルの考えを空間に拡張できることを理解する。	知・技・思・判・表・ 態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	2
	空間座標と空間のベクトル	空間座標の概念及びその意味や表し方を理解し、それらを用いて空間におけるベクトルを成分表示することができる。また、空間のベクトルでも平面のベクトルと同様に演算法則が成り立つことを理解し、ベクトルの加減や実数倍などの演算の表し方を平面の場合から類推して統合的・発展的に考察することができる。	知・技・思・判・表・ 態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	3

	指導内容 【年間授業計画】	数学Cの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月	空間のベクトルの内積	平面上のベクトルの内積の考えを空間に拡張して空間のベクトルの内積について理解する。また、そのことを利用して空間のベクトルのなす角や大きさを求めることができる。	知・技・思・判・表・態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	2
	位置ベクトルと空間の図形	平面における位置ベクトルの考えを拡張して空間における位置ベクトルについて理解する。また、それを用いて空間図形の性質について多面的に考察したり、空間における図形のベクトル方程式を求めたりすることができる。	知・技・思・判・表・態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	3
7月	放物線，楕円，双曲線	放物線，楕円，双曲線の定義とその方程式について，条件を満たす点の軌跡の考え方を用いて考察し，それらの曲線の基本的な性質について理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	数学Cの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	放物線，楕円，双曲線	放物線，楕円，双曲線の定義とその方程式について，条件を満たす点の軌跡の考え方をを用いて考察し，それらの曲線の基本的な性質について理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	6
	2次曲線と平行移動	2次曲線を平行移動して得られる曲線の方程式について，条件を満たす点の軌跡の考え方をを用いて考察することができる。また，平行移動したときの2次曲線の方程式の変化について理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	2
	2次曲線と直線	2次曲線と直線の共有点について，2次方程式の実数解の考え方をを用いて考察することができる。また，2次方程式の判別式を用いて，2次曲線と直線の共有点の個数を求めたり，2次曲線の接線の方程式を求めたりすることができる。	知・技・思・判・表・態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	2
	2次曲線と離心率	放物線，楕円，双曲線を，離心率の考え方をを用いることで相互に関連付けて捉えて考察することができる。	知・技・思・判・表・態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	3
	曲線の媒介変数表示	曲線の媒介変数表示について理解する。また，媒介変数表示された曲線の方程式を求めたり，サイクロイドなどの様々な曲線の媒介変数表示について理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	3

指導内容 【年間授業計画】	数学Cの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
10月	極座標と極方程式	直交座標と極座標の関係及び極方程式について理解する。また、直交座標で表された図形の方程式を極方程式で表すことやその逆のことができる。	知・技・思・判・表・態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	3
	複素数平面	複素数平面上の点が複素数を表していることを理解する。また、複素数の実数倍や、和と差が複素数平面上でどのように表されるかを理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	3
	複素数の極形式	複素数の極形式を理解し、 $a+bi$ の形の複素数を極形式で表すことができる。また、複素数の積・商と複素数平面上の回転移動との関係を理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	3
11月							
	ド・モアブルの定理	ド・モアブルの定理について理解する。また、ド・モアブルの定理を用いて $z^n = \alpha$ の解を求めることができる。さらに、その解を複素数平面上に図示することができる。	知・技・思・判・表・態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	2
	2直線のなす角	偏角を用いることにより、複素数平面上の2直線がなす角の大きさが求められることを理解する。また、複素数平面上の三角形の形状を調べることができる。	知・技・思・判・表・態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	2
	複素数平面上の図形	内分点や外分点、円、軌跡を、複素数を用いて表現することができる。	知・技・思・判・表・態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	2
	適切なグラフの選択	データの種類に応じて適切な図、表、統計グラフなどの表現方法を選択することができる。	知・技・思・判・表・態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	4

指導内容 【年間授業計画】	数学Cの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
1 2 月	様々な表やグラフ	既知の図、表、統計グラフでは読み取りにくい情報がないかを考察し、複数の図表を組み合わせたり、新たな表現方法を検討したりして、表現の改善点や改善方法を見いだすことができる。	知・技・思・判・表・態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	3
1 月	様々な表やグラフ	既知の図、表、統計グラフでは読み取りにくい情報がないかを考察し、複数の図表を組み合わせたり、新たな表現方法を検討したりして、表現の改善点や改善方法を見いだすことができる。	知・技・思・判・表・態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	4

指導内容 【年間授業計画】	数学Cの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
2月							
3月							

教科:(家庭) 科目:(幼児教育) 単位数:2単位 対象:(第3学年)  
 教科担当者:(1組:若菜 ㊟)(2組: ㊟)(3組: ㊟)(4組: ㊟)(5組: ㊟)(6組: ㊟)  
 使用教科書:  
 使用教材:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴及び子どもの福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけている。	子どもを取り巻く課題を発見し、保育を担う大人として合理的かつ創造的に解決する力を身につけている。子どもの発達にふさわしい児童文化財を選択したり、製作することができる。	子どもの健やかな発達を目指し自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。

指導内容 【年間授業計画】	幼児教育の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月 オリエンテーション	授業の目的とルールを理解することができる。 自分の幼児期を振り返り、表現することができる。	知・技・思・判・表・態 ワークシート	○	○	○	2
4月 幼児の特徴（身体の発育・発達） 折り紙①	幼児の特徴を理解し、幼児の健やかな発達を促す折り紙を製作することができる。	知・技・思・判・表・態 ワークシート 作品	○	○	○	2
4月 幼児の特徴（言葉・情緒の発育・発達） 折り紙②	幼児の特徴を理解し、幼児の健やかな発達を促す折り紙を製作することができる。	知・技・思・判・表・態 ワークシート 作品	○	○	○	2
4月 幼児の特徴（思考の特徴） 折り紙③	幼児の思考の特徴を理解し、幼児の健やかな発達を促す折り紙を製作することができる。	知・技・思・判・表・態 ワークシート 作品	○	○	○	4
5月						
5月 児童文化財の特徴と役割 壁面構成 I 「夏」	児童文化財の特徴と役割を理解し、幼児の健やかな発達を促す壁面を構成することができる。	知・技・思・判・表・態 ワークシート 作品	○	○	○	4
5月 児童文化財の種類 壁面構成 I 「夏」	児童文化財の特徴と役割を理解し、幼児の健やかな発達を促す壁面を構成することができる。	知・技・思・判・表・態 ワークシート 作品	○	○	○	4

	指導内容 【年間授業計画】	幼児教育の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月	児童文化財の歴史 折り紙テスト	児童文化財の歴史を理解し、具体例をあげることができる。 幼児の健やかな発達を促す折り紙を製作することができる。	知・技・思・判・表・態 ワークシート 作品	○	○	○	4
	筆記試験 保育園訪問	乳幼児の心身の発達の特徴を理解している。 乳幼児に関心を持ち、保育実習をすることができる。	知・技・思・判・表・態 定期テスト・ワークシート	○	○	○	4
7月	壁面構成Ⅱ「秋」	幼児の健やかな発達を促す、壁面構成を製作することができる。	知・技・思・判・表・態 ワークシート 作品	○	○	○	4
	絵本の読み聞かせ	絵本の読み聞かせの技術を習得し、表現することができる。 様々な絵本を鑑賞し、良いところと改善点を見つけることができる。	知・技・思・判・表・態 ワークシート 作品	○	○	○	4

	指導内容 【年間授業計画】	幼児教育の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	絵本について からくり絵本の製作①	絵本の特徴と種類、年齢ごとのふさわしい絵本を知る。 からくり絵本の部品を作成することができる。□ □	知・技・思・判・表・態 ワークシート 作品	○	○	○	2
	からくり絵本の製作②	からくり絵本の仕組みを理解し、対象年齢に合った絵本を作成することができる。	知・技・思・判・表・態 ワークシート 作品	○	○	○	2
	からくり絵本の製作③	からくり絵本の仕組みを理解し、対象年齢に合った絵本を作成することができる。	知・技・思・判・表・態 ワークシート 作品	○	○	○	2
	からくり絵本の製作④	からくり絵本の仕組みを理解し、対象年齢に合った絵本を作成することができる。	知・技・思・判・表・態 ワークシート 作品	○	○	○	2
	壁面構成Ⅱ「冬」	幼児の健やかな発達を促す、壁面構成を製作することができる。	知・技・思・判・表・態 ワークシート 作品	○	○	○	4



指導内容 【年間授業計画】	幼児教育の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
1 2 月	筆記試験 伝承遊びについて	伝承遊びを調査し、発表することができる。後世に残す方法を具体的に表現することができる。	知・技・思・判・表・態 定期テスト・ワークシート	○	○	○	2
	伝承遊びについて 食育カルタ①	幼児の特徴を理解し、食育カルタの作製することができる。	知・技・思・判・表・態 ワークシート 作品	○	○	○	2
1 月	伝承遊びについて 食育カルタ②	幼児の特徴を理解し、食育カルタの作製することができる。	知・技・思・判・表・態 ワークシート 作品	○	○	○	4
	伝承遊びについて 食育カルタ③	幼児の特徴を理解し、食育カルタの作製することができる。	知・技・思・判・表・態 ワークシート 作品	○	○	○	

指導内容 【年間授業計画】	幼児教育の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
2月						
3月						



	指導内容 【年間授業計画】	家庭総合の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月							
7月	食生活分野	調理に関する基礎的な技術を身につけ、食事マナーを知り、楽しく食事ができるようにする。 献立作成を行い、調理実習を行う。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	5

	指導内容 【年間授業計画】	家庭総合の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	食生活分野	調理に関する基礎的な技術を身につけ、食事マナーを知り、楽しく食事ができるようにする。 献立作成を行い、調理実習を行う。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	12
	保育分野	子どもの体や心の発達を理解する。 子どもとのかかわり方を考える。 子どもの生活と安全について考える。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	12

指導内容 【年間授業計画】	家庭総合の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
10月							
11月	高齢者分野	高齢社会の現状と課題について理解する。 高齢者の心身の特徴や生活について理解する。 介護を必要としている高齢者一人一人に応じた介護の必要性について考える。 介護保険制度のしくみやサービスの内容を理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	11

	指導内容 【年間授業計画】	家庭総合の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	共生分野	個人や家庭生活を支える社会保険制度や社会福祉についての重要性を理解する。 地域に根差した社会福祉の重要性を理解する。 ボランティア活動について学習し、支えあう社会の大切さを学ぶ。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	5
1 月	住生活	住まいの機能や、住まいと気候風土のかかわりなどについて理解する。 日本の住まいの変遷、生活様式などを理解する。 これからの自分の住生活を考える。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	4

指導内容 【年間授業計画】	家庭総合の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
2月							
3月							

教科:(情報) 科目:(アプリケーション) 単位数:2単位 対象:(第3学年)

教科担当者:(1組~5組:田代 ㊟)

使用教科書:新編情報 I (東京書籍)

使用教材:新編情報 I (東京書籍)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
コンピュータ周りの知識や、文書処理ソフトウェアの操作方法、表計算ソフトウェアの操作方法や、プレゼンテーションソフトウェアの操作方法を身に着ける。	プログラミングなどを通して自分の課題解決を目指す。 プレゼンテーションをする際に話を聞く人が分かりやすいスライドの表現方法を身に着け表現する。	課題に取り込む力を養う。検索活動や周囲に相談したり質問したりして力を養う。

指導内容 【年間授業計画】	アプリケーションの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月	パスワード設定の方法について学ぶ	知・技・思・判・表・態	○	○	○	4
	文書処理ソフトウェアの操作方法を理解し操作できる。	知・技・思・判・表・態	○	○	○	8
5月	文書処理ソフトウェアの操作方法を理解し操作できる。	知・技・思・判・表・態	○	○	○	8
	表計算ソフトウェアの操作方法を理解し操作できる。	知・技・思・判・表・態	○	○	○	8

	指導内容 【年間授業計画】	アプリケーションの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月							
7月	表計算ソフトウェアの操作方法を理解し操作できる。		知・技・思・判・表・態	○	○	○	6

	指導内容 【年間授業計画】	アプリケーションの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	ドローンプログラム		知・技・思・判・表・ 態	○	○	○	8
	ドローンプログラム		知・技・思・判・表・ 態	○	○	○	8

	指導内容 【年間授業計画】	アプリケーションの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
10月							
11月	ドローンプログラム		知・技・思・判・表・態	○	○	○	8

	指導内容 【年間授業計画】	アプリケーションの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	プレゼンテーションソフトウェア操作方法を学ぶ		知・技・思・判・表・態	○	○	○	8
1 月	プレゼンテーションソフトウェア操作方法を学ぶ		知・技・思・判・表・態	○	○	○	4

指導内容 【年間授業計画】	アプリケーションの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
2月						
3月						

教科:(外国語) 科目:(教養英語) 単位数:2単位 対象:(第3学年)  
 教科担当者:(1組:殿山 ㊟)(2組:殿山 ㊟)(3組:殿山 ㊟)(4組:殿山 ㊟)(5組: ㊟)(6組: ㊟)  
 使用教科書:ブレックイングリッシュ Reading やさしい英文の読みかた  
 使用教材:旺文社

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
様々な自己表現活動を通して、高1及び2年生段階での既習語彙や文法の定着を図る。	自分自身のことや自分の周りで起こっている事について、簡単な語彙や文法を使って表現する。	仲間との交流を通して、互いの共通点や相違点に気づき、自身の考えを深める。

	指導内容 【年間授業計画】	教養英語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月	オリエンテーション 自己紹介	自分自身のことや身近なことを表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	知・技・思・判・表・態 プリント パフォーマンステスト	○	○	○	2
	Q&A Prep English Reading Unit 1 What did your dog eat?	平易な単語や文法で書かれた、まとまった文章を読み、概要や要点を捉えている。	知・技・思・判・表・態 ワーク 定期考査	○	○		2
	Q&A Prep English Reading Unit 1 What did your dog eat?	英語の言い訳について調べ、オリジナルの言い訳を考えて、簡単な表現を用いて話して伝えている。	知・技・思・判・表・態 プリント パフォーマンステスト	○	○	○	2
5月	Warm-up Activity Daily routine	日常生活習慣についてJETに話して伝えるために、必要な表現を理解している。	知・技・思・判・表・態 プリント パフォーマンステスト	○	○		2
	Daily routine	日常生活習慣について学習した表現を用いてJETに話して伝えている。	知・技・思・判・表・態 プリント パフォーマンステスト	○	○	○	2
	Q&A Prep English Reading Unit 2 Teenagers today	平易な単語や文法で書かれた、まとまった文章を読み、概要や要点を捉えている。	知・技・思・判・表・態 ワーク 定期考査	○	○		2
	Q&A Prep English Reading Unit 2 Teenagers today	将来の仕事について、簡単な表現を用いて話して伝えている。	知・技・思・判・表・態 プリント パフォーマンステスト	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	教養英語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月	中間考査	これまでの授業の振り返り	知・技・思・判・表・態 定期考査	○	○	○	1
	Warm-up Activity My history	自分の過去の出来事についてJETに書いて伝えるために、必要な表現を理解している。	知・技・思・判・表・態 プリント パフォーマンステスト	○	○		2
	My history	自分の過去の出来事について、学習した表現を用いてJETに書いている。	知・技・思・判・表・態 プリント パフォーマンステスト	○	○	○	2
7月	Q&A Prep English Reading Unit 3 The latest fashion?	平易な単語や文法で書かれた、まとまった文章を読み、概要や要点を捉えている。	知・技・思・判・表・態 ワーク 定期考査	○	○		2
	Q&A Prep English Reading Unit 3 The latest fashion?	自分のお気に入りのものについて、実物を見せながら話して伝えている。	知・技・思・判・表・態 プリント パフォーマンステスト	○	○	○	2
	期末考査	これまでの授業の振り返り	知・技・思・判・表・態 定期考査	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	教養英語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	My summer vacation	夏休み中の思い出を表現するために、簡単な表現を用いて話して伝えている。	知・技・思・判・表・態 プリント パフォーマンステスト	○	○	○	2
	Q&A Prep English Reading Unit 4 Ig Nobel Prize	平易な単語や文法で書かれた、まとまった文章を読み、概要や要点を捉えている。	知・技・思・判・表・態 ワーク 定期考査	○	○		2
	Q&A Prep English Reading Unit 4 Ig Nobel Prize	将来発明されてほしいものを考え、学習した表現を用いて書いて伝えている。	知・技・思・判・表・態 プリント パフォーマンステスト	○	○	○	2
	Tokyo One Day Trip	海外からの観光客に伝えるために、東京日帰り観光プランを企画するための簡単な表現を理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント パフォーマンステスト	○	○		2
	Tokyo One Day Trip	海外からの観光客に伝えるために、簡単な表現を用いて、東京日帰り観光プランを企画する。	知・技・思・判・表・態 プリント パフォーマンステスト	○	○		2

指導内容 【年間授業計画】	教養英語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
10月	Tokyo One Day Trip	東京日帰り観光プランを海外からの観光客に話して伝える。	知・技・思・判・表・態 プリント パフォーマンステスト	○	○	○	2
	Q&A Prep English Reading Unit 5 A funny mistake	平易な単語や文法で書かれた、まとまった文章を読み、概要や要点を捉えている。	知・技・思・判・表・態 ワーク 定期考査	○	○		2
	Q&A Prep English Reading Unit 5 A funny mistake	自分の得意・不得意について学習した表現を用いて話して伝えている。	知・技・思・判・表・態 プリント パフォーマンステスト	○	○	○	2
	中間考査	これまでの授業の振り返り	知・技・思・判・表・態 定期考査	○	○	○	1
11月	Q&A Prep English Reading Unit 6 Droodle	平易な単語や文法で書かれた、まとまった文章を読み、概要や要点を捉えている。	知・技・思・判・表・態 ワーク 定期考査	○	○		2
	Q&A Prep English Reading Unit 6 Droodle	Droodleから絵にタイトルをつけ、その理由を学習した表現を用いて書いている。	知・技・思・判・表・態 プリント パフォーマンステスト	○	○	○	2
	Q&A Prep English Reading Unit 7 British English and American English	平易な単語や文法で書かれた、まとまった文章を読み、概要や要点を捉えている。	知・技・思・判・表・態 ワーク 定期考査	○	○		2
	Q&A Prep English Reading Unit 7 British English and American English	訪れたい国の言語を調べ、日本語や英語と比較し、その違いや興味を持った点を学習した表現を用いて伝える。	知・技・思・判・表・態 プリント パフォーマンステスト	○	○	○	2
	Q&A Prep English Reading Unit 8 Thanksgiving Day and Black Friday	平易な単語や文法で書かれた、まとまった文章を読み、概要や要点を捉えている。	知・技・思・判・表・態 ワーク 定期考査	○	○		2



指導内容 【年間授業計画】	教養英語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
2月							
3月							

教科:(外国語) 科目:(受験英語) 単位数:4単位 対象:(第3学年)  
 教科担当者:(必修選択:永野 ㊟)(自由選択:永野 ㊟)(3組: ㊟)(4組: ㊟)(5組: ㊟)(6組: ㊟)  
 使用教科書:  
 使用教材:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
英語での表現に向けて、基本的な語彙や文法事項または応用的な文法を理解する。文法やイデオムを正しい形で使うことができる。	語彙や文法を使って、目標となる内容について英語で表現できる。各レッスンで、まとまった文章を読み、その内容について理解できる。	定められた条件に従って、既習事項等を用いて、自分の考えを表現しようとしている。

	指導内容 【年間授業計画】	受験英語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月	オリエンテーション	英語の授業についてのオリエンテーション ①授業で使用する持ち物の確認 ②英語の単位取得と評価についての説明 ③授業中での諸注意	・授業態度 ・活動と課題の取組状況			○	4
	第1問形式	・短文読解「情報を読み取る」 ・短文や対話の聞き取り	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・小テスト	○	○	○	12
	第2問形式	・長文の情報整理 ・短い対話	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・小テスト	○	○	○	12
5月	中間考査	第1問、第2問の定着度の確認	・考査得点 ・提出物	○	○	○	3
	第3問形式	・長文要旨把握 ・二人の対話	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・小テスト	○	○	○	12
	第4問形式	・長文読解＋英作文 ・長文発話聞き取り	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・小テスト	○	○	○	12

	指導内容 【年間授業計画】	受験英語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月							
7月	期末考査	第3問、第4問の定着度の確認	・考査得点 ・提出物	○	○	○	1
	1学期の復習	文法、語彙を中心に、1学期に学習した内容を復習する。	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・小テスト	○	○	○	4

	指導内容 【年間授業計画】	受験英語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	第5問形式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数資料の読解</li> <li>・講義聞き取り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動と課題の取組状況</li> <li>・理解度</li> <li>・ノート</li> <li>・小テスト</li> </ul>	○	○	○	12
	第6問形式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メモ・スライド完成</li> <li>・対話複数人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動と課題の取組状況</li> <li>・理解度</li> <li>・ノート</li> <li>・小テスト</li> </ul>	○	○	○	12
	中間考査	第5～6の定着度の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動と課題の取組状況</li> <li>・理解度</li> <li>・ノート</li> <li>・小テスト</li> </ul>	○	○	○	1

指導内容 【年間授業計画】	受験英語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
10月	第7問形式	パラグラフ読解	・ 考查得点 ・ 提出物	○	○	○	12
11月	第8問形式	意見整理型の長文	・ 活動と課題の取組状況 ・ 理解度 ・ ノート ・ 小テスト	○	○	○	12

	指導内容 【年間授業計画】	受験英語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	期末考査	第7～8回の定着度の確認	・ 考査得点 ・ 提出物	○	○	○	1
	2学期の復習	文法、語彙を中心に、2学期に学習した内容を復習する。	・ 活動と課題の取組状況 ・ 理解度 ・ ノート ・ 小テスト	○	○	○	4
1 月	1年間のまとめ	文法、語彙を中心に、1年間に学習した内容を復習する。	・ 活動と課題の取組状況 ・ 理解度 ・ ノート ・ 小テスト	○	○	○	4
	1年間のまとめ	文法、語彙を中心に、1年間に学習した内容を復習する。	・ 活動と課題の取組状況 ・ 理解度 ・ ノート ・ 小テスト	○	○	○	8
	1年間のまとめ	文法、語彙を中心に、1年間に学習した内容を復習する。	・ 活動と課題の取組状況 ・ 理解度 ・ ノート ・ 小テスト	○	○	○	14

指導内容 【年間授業計画】	受験英語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
2月						
3月						

教科:(外国語) 科目:(英語コミュニケーションⅢ) 単位数:4単位 対象:(第3学年)

教科担当者:(1組:水野・殿山・松村 他) / (2組:水野・殿山・松村 他) / (3組:殿山・松ト・松村・渡部 他) / (4組:殿山・松ト・松村・渡部 他) / (5組:水野・松ト・渡部 他) / (6組:他)

使用教科書:All Aboard! English Communication Ⅲ(東書)

使用教材:All Aboard! English Communication ⅢWORKBOOK(東書)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
<p>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。</p> <p>・外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合っている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>

指導内容 【年間授業計画】	英語コミュニケーションⅢの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月 オリエンテーション	英語の授業についてのオリエンテーション ①授業で使用する持ち物の確認 ②英語の単位取得と評価についての説明 ③授業中での諸注意	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	1
Lesson 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>不定詞・動名詞を理解し、それを活用して英語で表現することができる。</li> <li>「建築物」について書かれた文の内容を理解し、建築物について英語で紹介する。</li> </ul>	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	20
Lesson 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在完了を理解し、それを活用して英語で表現することができる。</li> <li>「生き物」について書かれた文の内容を理解し、生き物の特徴について英語で紹介する。</li> </ul>	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	20
中間考査	Lesson 1、Lesson 2の定着度の確認	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	1
5月						
Lesson 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>使役動詞の用法を理解し、それを活用して英語で表現することができる。</li> <li>「ファッション」について書かれた文の内容を理解し、ファッションについて英語でインタビューする。</li> </ul>	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	20

	指導内容 【年間授業計画】	英語コミュニケーションⅢの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月							
7月	期末考査	Lesson 3、Lesson 4の定着度の確認	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	1
	1学期の復習	文法、語彙を中心に、1学期に学習した内容を復習する。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	10

	指導内容 【年間授業計画】	英語コミュニケーションⅢの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	Lesson 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受け身の用法を理解し、それを活用して英語で表現することができる。</li> <li>・「食糧問題」について書かれた文の内容を理解し、食糧問題について考える。</li> </ul>	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	20
	中間考査	Lesson 4の定着度の確認	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	1

指導内容 【年間授業計画】	英語コミュニケーションⅢの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
10月						
Lesson 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係代名詞の用法を理解し、それを活用して英語で表現することができる。</li> <li>・「マダガスカル」について書かれた文の内容を理解し、自然環境問題について考える。</li> </ul>	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	20
11月						

	指導内容 【年間授業計画】	英語コミュニケーションⅢの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	期末考査	Lesson 5の定着度の確認	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	1
	2学期の復習	文法、語彙を中心に、2学期に学習した内容を復習する。	知・技・思・判・表・ 態 プリント 定期考査	○	○	○	10
1 月	1年間のまとめ	文法、語彙を中心に、1年間に学習した内容を復習する。	知・技・思・判・表・ 態 プリント	○	○	○	15

指導内容 【年間授業計画】	英語コミュニケーションⅢの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
2月						
3月						

教科:(芸術) 科目:(保育音楽) 単位数:2単位 対象:(第3学年)  
 教科担当者:(1組:㊟)(2組:㊟)(3組:㊟)(4組:㊟)(5組:㊟)(6組:㊟)  
 使用教科書:  
 使用教材:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。 ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

	指導内容 【年間授業計画】	保育音楽の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月	オリエンテーション	保育音楽とはなにか 評価方法	観察、プリント、実技試験				1
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
5月	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2

	指導内容 【年間授業計画】	保育音楽の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6 月	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
7 月	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				



	指導内容 【年間授業計画】	保育音楽の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
10月	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
11月	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				3
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2

	指導内容 【年間授業計画】	保育音楽の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				3
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
1 月							4
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				3
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				3
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				

指導内容 【年間授業計画】	保育音楽の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
2 月						
3 月						

教科:(芸術) 科目:(教養音楽) 単位数:2単位 対象:(第3学年)

教科担当者:(1組:吉田 拓真 ㊟)(2組:吉田 拓真 ㊟)(3組:吉田 拓真 ㊟)(4組:吉田 拓真 ㊟)(5組:㊟)(6組:㊟)

使用教科書:

使用教材:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。 ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

	指導内容 【年間授業計画】	教養音楽の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月	オリエンテーション	保育音楽とはなにか 評価方法	観察、プリント、実技試験				1
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
5月	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2

	指導内容 【年間授業計画】	教養音楽の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6 月	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
7 月	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				



	指導内容 【年間授業計画】	教養音楽の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
10月	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
11月	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				3
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2

	指導内容 【年間授業計画】	教養音楽の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				3
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
							2
1 月							4
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				2
	ピアノ実技 幼児歌唱 リトミック ソルフエージュ 楽典	ピアノ実技（幼児用）、コード奏、基礎的な楽譜の読み方、聴音練習、リズムリトミック	観察、プリント、実技試験				

	指導内容 【年間授業計画】	教養音楽の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
2月							
3月							

教科:(保健体育) 科目:(球技B(男子)) 単位数:2単位 対象:(第3学年)

教科担当者:

使用教科書:最新高等保健体育(大修館書)

使用教材:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の多様性や体力の必要性について理解し、それらの技能を身に付けるようにする。	互いの違いやよさを言葉や文章などで表現し、根拠を持って相手に伝える力を身に付ける。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する自己の責任を果たし、健康・安全を確保して運動に親しむ態度を養う。

指導内容 【年間授業計画】	球技B(男子)の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月	バドミントン クリアー・ドロップ・ヘアピン・スマッシュ・サーブ シングルのルール	実技テスト	○	○	○	8
5月	バドミントン ラリー サーブ シングルスゲーム	実技テスト	○	○	○	10
バドミントン ラリー サーブ シングルスゲーム	実技テスト	○	○	○	8	

	指導内容 【年間授業計画】	球技B（男子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月							
7月	ソフトボール	キャッチボール ピッチング練習 ノック（守備練習） 練習ゲーム	実技テスト	○	○	○	6

	指導内容 【年間授業計画】	球技B（男子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	ソフトボール	キャッチボール ピッチング練習 ノック（守備練習） 練習ゲーム	実技テスト	○	○	○	8
	ソフトボール	キャッチボール ピッチング練習 ノック（守備練習） 練習ゲーム	実技テスト	○	○	○	10

指導内容 【年間授業計画】	球技B（男子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
10月						
ソフトボール	キャッチボール ピッチング練習 ノック（守備練習） 練習ゲーム	実技テスト	○	○	○	8
11月						

指導内容 【年間授業計画】	球技B（男子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	バスケットボール	パス・ドリブル・シュート 1対1 アウトナンバーの攻撃 3対3 練習ゲーム	○	○	○	6
1 月	サッカー	パス・ドリブル・シュート センターリング（サイド攻撃） ミニゲーム 練習ゲーム	○	○	○	4

指導内容 【年間授業計画】	球技B（男子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
2月						
3月						

教科:(保健体育) 科目:(球技B(女子)) 単位数:2単位 対象:(第3学年)

教科担当者:

使用教科書:最新保健体育(大修館)

使用教材:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の多様性や体力の必要性について理解し、それらの技能を身に付けるようにする。	互いの違いやよさを言葉や文章などで表現し、根拠を持って相手に伝える力を身に付ける。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する自己の責任を果たし、健康・安全を確保して運動に親しむ態度を養う。

指導内容 【年間授業計画】	球技B(女子)の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月	バドミントン クリアー・ドロップ・ヘアピン・スマッシュ・サーブ シングルのルール	実技テスト	○	○	○	8
5月	バドミントン ラリー サーブ シングルスゲーム	実技テスト	○	○	○	4
バドミントン ラリー サーブ シングルスゲーム	実技テスト	○	○	○	8	

	指導内容 【年間授業計画】	球技B（女子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月							
7月	ソフトボール	キャッチボール ピッチング練習 ノック（守備練習） 練習ゲーム	実技テスト	○	○	○	8

	指導内容 【年間授業計画】	球技B（女子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	ソフトボール	キャッチボール ピッチング練習 ノック（守備練習） 練習ゲーム	実技テスト	○	○	○	8
	ソフトボール	キャッチボール ピッチング練習 ノック（守備練習） 練習ゲーム	実技テスト	○	○	○	8

指導内容 【年間授業計画】	球技B（女子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
10月						
ソフトボール	キャッチボール ピッチング練習 ノック（守備練習） 練習ゲーム	実技テスト	○	○	○	10
11月						

指導内容 【年間授業計画】	球技B（女子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	バスケットボール	パス・ドリブル・シュート 1対1 アウトナンバーの攻撃 3対3 練習ゲーム	○	○	○	8
1 月	サッカー	パス・ドリブル・シュート センターリング（サイド攻撃） ミニゲーム 練習ゲーム	○	○	○	4

指導内容 【年間授業計画】	球技B（女子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
2月						
3月						

教科:(保健体育) 科目:(体育(男子)) 単位数:2単位 対象:(第3学年)

教科担当者:(1組:真輪・金澤・  
余子・小松崎(印))(2組:笠輪・金澤・  
使用教科書:最新保健体育(大修館)

使用教材:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の多様性や体力の必要性について理解し、それらの技能を身に付けるようにする。	互いの違いやよさを言語や文章などで表現し、根拠を持って相手に伝える力を身に付ける。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する自己の責任を果たし、健康・安全を確保して運動に親しむ態度を養う。

	指導内容 【年間授業計画】	体育(男子)の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月	男子 バレーボール バスケットボール  女子 テニス サッカー	体育の授業を受けるにあたって、注意することと本年度の目標について理解する。スポーツテスト種目(50m走、ハンドボール投げ、持久走)を正しくきちんと計測することができる。	知・技・思・判・表・ 態 個人プリント 実技テスト	○	○	○	4
				○	○	○	
5月	男子 バレーボール バスケットボール  女子 テニス サッカー	短距離走(50m走、100m走、50mH走)	知・技・思・判・表・ 態 個人プリント 実技テスト	○	○	○	4
	男子 バレーボール バスケットボール  女子 テニス サッカー	各種目の特性を理解し、生徒自身が自ら課題を発見し、課題を克服していく。	知・技・思・判・表・ 態 個人プリント 実技テスト	○	○	○	4
	男子 ソフトボール 男女 テニス 男女 水泳(卓球) 女子 バドミントン	水慣れ バタ足、ビート版を使用した泳ぎができる。 面かぶりクロールの形がとれる。	知・技・思・判・表・ 態 個人プリント 実技テスト	○	○	○	4



	指導内容 【年間授業計画】	体育（男子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	男子 ソフトボール 男女 テニス 男女 水泳（卓球） 女子 バドミントン	水慣れ パタ足、ビート版を使用しての泳ぎができる。 面かぶりクロールの形がとれる。	知・技・思・判・表・ 態 個人プリント 実技テスト	○	○	○	4
		各種パスの名前とやり方を覚える。 ドリブルができるようになる。 シュートを打てるようになる。	知・技・思・判・表・ 態 個人プリント 実技テスト	○	○	○	4
		フォアハンドストローク バックハンドストローク サーブ ボレー 上記の技術を正しく行うことができる。	知・技・思・判・表・ 態 個人プリント 実技テスト	○	○	○	4
	男子 サッカー バレーボール  女子 テニス バレーボール	各種パスの名前とやり方を覚える。 ドリブルができるようになる。 シュートを打てるようになる。	知・技・思・判・表・ 態 個人プリント 実技テスト	○	○	○	4

指導内容 【年間授業計画】	体育（男子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
10月	フォアハンドストローク バックハンドストローク サーブ ボレー 上記の技術を正しく行うことができる。	知・技・思・判・表・ 態 個人プリント 実技テスト	○	○	○	4
11月	男子 サッカー テニス  女子 バスケットボール バレーボール	各種パスの名前と投げ方を覚える。 ドリブルができるようになる。 シュートを打てるようになる。	○	○	○	3
		各種パスの名前と使い方を覚える。 3段攻撃ができるようになる。 サーブ・スパイクを打てるようになる。	○	○	○	3

指導内容 【年間授業計画】	体育（男子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
1 2 月	男子 バスケットボール サッカー  女子 バドミントン テニス	各種パスの名前と投げ方を覚える。 ドリブルができるようになる。 シュートを打てるようになる。	知・技・思・判・表・ 態 個人プリント 実技テスト	○	○	○	3
		各種パスの名前と使い方を覚える。 3段攻撃ができるようになる。 サーブ・スパイクを打てるようになる。	知・技・思・判・表・ 態 個人プリント 実技テスト	○	○	○	3
1 月	男子 バスケットボール サッカー  女子 バドミントン テニス	各種パスの名前と投げ方を覚える。 ドリブルができるようになる。 シュートを打てるようになる。	知・技・思・判・表・ 態 個人プリント 実技テスト	○	○	○	4
		各種パスの名前と使い方を覚える。 3段攻撃ができるようになる。 サーブ・スパイクを打てるようになる。	知・技・思・判・表・ 態 個人プリント 実技テスト				3

指導内容 【年間授業計画】	体育（男子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
2月							
3月							

教科:(保健体育) 科目:(体育(女子)) 単位数:2単位 対象:(第3学年)

教科担当者:(1組:真輪・金澤・

金子・小松崎(印))(2組:箕輪・金澤・

使用教科書:最新保健体育(大修館)

使用教材:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の多様性や体力の必要性について理解し、それらの技能を身に付けるようにする。	互いの違いやよさを言語や文章などで表現し、根拠を持って相手に伝える力を身に付ける。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する自己の責任を果たし、健康・安全を確保して運動に親しむ態度を養う。

	指導内容 【年間授業計画】	体育(女子)の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月	男子 バレーボール バスケットボール  女子 テニス サッカー	体育の授業を受けるにあたって、注意することと本年度の目標について理解する。スポーツテスト種目(50m走、ハンドボール投げ、持久走)を正しくきちんと計測することができる。	知・技・思・判・表・ 態 個人プリント 実技テスト	○	○	○	4
5月	男子 バレーボール バスケットボール  女子 テニス サッカー	短距離走(50m走、100m走、50mH走)	知・技・思・判・表・ 態 個人プリント 実技テスト	○	○	○	4
	男子 バレーボール バスケットボール  女子 テニス サッカー	各種目の特性を理解し、生徒自身が自ら課題を発見し、課題を克服していく。	知・技・思・判・表・ 態 個人プリント 実技テスト	○	○	○	4
	男子 ソフトボール 男女 テニス 男女 水泳(卓球) 女子 バドミントン	水慣れ バタ足、ビート版を使用した泳ぎができる。 面かぶりクロールの形がとれる。	知・技・思・判・表・ 態 個人プリント 実技テスト	○	○	○	4



	指導内容 【年間授業計画】	体育（女子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	男子 ソフトボール 男女 テニス 男女 水泳（卓球） 女子 バドミントン	水慣れ パタ足、ビート版を使用しての泳ぎができる。 面かぶりクロールの形がとれる。	知・技・思・判・表・ 態 個人プリント 実技テスト	○	○	○	4
		各種パスの名前とやり方を覚える。 ドリブルができるようになる。 シュートを打てるようになる。	知・技・思・判・表・ 態 個人プリント 実技テスト	○	○	○	4
		フォアハンドストローク バックハンドストローク サーブ ボレー 上記の技術を正しく行うことができる。	知・技・思・判・表・ 態 個人プリント 実技テスト	○	○	○	4
	男子 サッカー バレーボール  女子 テニス バレーボール	各種パスの名前とやり方を覚える。 ドリブルができるようになる。 シュートを打てるようになる。	知・技・思・判・表・ 態 個人プリント 実技テスト	○	○	○	4

指導内容 【年間授業計画】	体育（女子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
10月	フォアハンドストローク バックハンドストローク サーブ ボレー 上記の技術を正しく行うことができる。	知・技・思・判・表・ 態 個人プリント 実技テスト	○	○	○	4
11月	男子 サッカー テニス  女子 バスケットボール バレーボール	各種パスの名前と投げ方を覚える。 ドリブルができるようになる。 シュートを打てるようになる。	○	○	○	3
		各種パスの名前と使い方を覚える。 3段攻撃ができるようになる。 サーブ・スパイクを打てるようになる。	○	○	○	3

指導内容 【年間授業計画】	体育（女子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
1 2 月	男子 バスケットボール サッカー  女子 バドミントン テニス	各種パスの名前と投げ方を覚える。 ドリブルができるようになる。 シュートを打てるようになる。	知・技・思・判・表・ 態 個人プリント 実技テスト	○	○	○	3
		各種パスの名前と使い方を覚える。 3段攻撃ができるようになる。 サーブ・スパイクを打てるようになる。	知・技・思・判・表・ 態 個人プリント 実技テスト	○	○	○	3
1 月	男子 バスケットボール サッカー  女子 バドミントン テニス	各種パスの名前と投げ方を覚える。 ドリブルができるようになる。 シュートを打てるようになる。	知・技・思・判・表・ 態 個人プリント 実技テスト	○	○	○	4
		各種パスの名前と使い方を覚える。 3段攻撃ができるようになる。 サーブ・スパイクを打てるようになる。	知・技・思・判・表・ 態 個人プリント 実技テスト				3

指導内容 【年間授業計画】	体育（女子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
2月						
3月						

教科:(理科) 科目:(生物) 単位数:4単位 対象:(第3学年)

教科担当者:(5組:荻原 ㊟)

使用教科書:高等学校 生物(第一学習社)

使用教材:2026 セミナー生物基礎+生物(第一学習社)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
生物や生物現象についての観察、実験などを行うことを通して、生物や生物現象に関する基本的な概念(生物学の基本的な概念)や原理・法則の理解を図るとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けさせる。	生物や生物現象を対象に、探究の過程を通して、問題を見いだすための観察、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、調査、データの分析・解釈、推論などの探究の方法を習得させるとともに、報告書を作成させたり発表させたりして、科学的に探究する力を育てる。	生物や生物現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	指導内容 【年間授業計画】	生物の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月	生命の起源と細胞の進化	ミラーの実験や原始地球の環境から、生命誕生前に有機物が生じていたことを推測し、化学進化の概要について説明できる。また、資料や図からシアノバクテリアの繁栄と地球環境の変化の関係性について説明できる。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	6
	遺伝子の変化と遺伝子の組み合わせの変化	有性生殖によって遺伝的な多様性が大きくなることを、塩基配列の変化と組み換えに関連付けて説明できる。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	9
	進化の仕組み	集団の遺伝子頻度に変化していく過程とその要因について説明できる。また、種分化が成立するまでの過程を理解している。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	7
5月	生物の系統	主な生物の系統を踏まえて、塩基配列やアミノ酸配列などの遺伝情報にもとづいて生物の系統を明らかにする手法を説明できる。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	6
	人類の系統と進化	類人猿と人類に関する資料をもとに、人類の進化とその系統について、形態的特徴の変化を踏まえて説明できる。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	4
	中間考査			○	○	○	1
	生体物質と細胞	細胞を構成する元素や物質、および細胞内の構造について、細胞の機能と関連付けて説明できる。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	6
	タンパク質の構造と性質	タンパク質の性質が、その立体構造によるものであり、その違いはアミノ酸配列によって生み出されていることを説明できる。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	5

	指導内容 【年間授業計画】	生物の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月	生命現象とタンパク質	酵素が生体内でどのように働くかを説明できる。さらに、膜輸送タンパク質や受容体の役割について、生命現象と関連付けて説明できる。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	6
	代謝とエネルギー	代謝に用いられるエネルギーは、主にATPが仲介していることを理解している。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	5
	炭酸同化	光合成において光エネルギーが化学エネルギーに変換される過程を、化学反応式を示しながら説明できる。また、炭酸同化の過程が、植物の生活環境によって異なることを理解している。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	7
7月	異化	生物は有機物を分解する異化によってATPを合成し、生命活動を営んでいることを理解している。また、呼吸と発酵の過程を比較し、その違いを説明できる。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	7
	期末考査			○	○	○	1
	DNAの複製	DNAの複製について、DNAポリメラーゼの働きとDNAの構造を関連付けて説明できる。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	5

	指導内容 【年間授業計画】	生物の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	遺伝子の発現	DNAの塩基配列に基づいてタンパク質が合成される過程を、転写や翻訳に関与する酵素やDNAの構造に関連付けて説明できる。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	5
	遺伝子の発現調節	遺伝子の発現が複数のタンパク質によって調節されるしくみについて説明できる。また、原核生物と真核生物の遺伝子発現調節機構の違いについて理解している。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	6
	発生と遺伝子の発現	発生の過程における分化と、その際の遺伝子発現の調節について説明できる。また、複数の生物で発生に関わる遺伝子が共通していることを理解している。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	8
	遺伝子を扱う技術とその応用	遺伝子の機能や構造を解析する手法とその意義について説明できる。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	5

指導内容 【年間授業計画】	生物の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
10月	刺激の受容と反応	受容器による刺激の受容から、神経系を介して効果器で反応が起こるまでのしくみを、関与する細胞の特性と関連付けて説明できる。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	6
	動物の行動	動物の生得的行動と習得的行動について、神経系における情報伝達の流れと関連付けて説明できる。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	5
	中間考査			○	○	○	1
11月	植物と環境	植物の環境応答に関する実験などの資料から、植物の成長や反応には植物ホルモンが関与していることを見だし理解している。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	5
	植物の一生と植物ホルモン	被子植物の配偶子形成や受精、胚発生の過程を理解させるとともに、植物の環境応答のしくみを光受容体や植物ホルモンに関連付けて説明できる。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	7
	個体群と生物群集	個体間や個体群間の関係性についての資料から、個体群や生物群集が維持されるしくみについて説明できる。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	6

	指導内容 【年間授業計画】	生物の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	期末考査			○	○	○	1
	生態系の物質生産と消費	生態系における物質生産とエネルギーの移動を、生態系での炭素や窒素の物質循環と関連付けて説明できる。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	5
1 月	生態系と人間生活	人間生活が生態系に及ぼす影響を理解し、生態系保全に寄与する態度を身に付けている。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	4

指導内容 【年間授業計画】	生物の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
2月						
3月						

教科:(理科) 科目:(物理) 単位数:4単位 対象:(第3学年)

教科担当者:(3年必選:佐藤淳史 @)

使用教科書:高等学校物理

使用教材:新課程版スタディノート物理

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
①数式の定義や正負の意味を正しく理解している。 ②式やグラフを正しく運用することができる。 ③実験器具の基本的な扱い方が身に付いている。	①実験で得られた結果から、関係性や法則性を見いだして表現することができる。 ②対話を通して、自分の考えを修正し表現することができる。	①課題や実験に主体的に取り組んでいる。 ②対話等を通して、自分の考えを修正しようとしている。

	指導内容 【年間授業計画】	物理の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月	運動方程式の立て方	場の力と接触力の違いを理解し、運動方程式をきちんと立式することができる。	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	6
			実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等				6
	投射問題	自由落下、投げ上げ、水平投射、斜方投射を定量的に扱うことができる。	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	6
5月	運動量と力積	運動量原理、運動量保存則をどのような場面で使えばよいのかを理解し、かつ、正しく立式できる。	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	6
	中間考査			○	○		1
	仕事とエネルギー	エネルギー原理、力学的エネルギー保存則をどのような場面で使えばよいのかを理解し、かつ、正しく立式できる。	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	6
	円運動	向心加速度について定性的な理解をする。等速円運動と非等速円運動の違いを理解し、各々の運動を定量的に処理することができる。	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	6

	指導内容 【年間授業計画】	物理の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月	単振動	振動中心、周期、振幅の「単振動3大求めるもの」を正しく求めることができる。	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	6
7月	慣性力	見かけの重力加速度を利用した問題を解くことができる。	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	6
	万有引力	万有引力による等速円運動と楕円運動の問題を解くことができる。	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	6
	熱力学の基礎	比熱と熱容量、状態方程式、熱力学第一法則を利用して、問題を解くことができる。	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	6
	期末考査			○	○		1

	指導内容 【年間授業計画】	物理の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	波動全範囲	波動全範囲の内容について定性的な理解を深める。	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	6
	電界と電位	電界＝流れ、電位＝高さの区別を理解し、問題を解くことができる。	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	6
	コンデンサー回路	回路の方程式と電気量保存則を正しく立式できる。	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	6
	抵抗回路	回路の方程式を立式できる。	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	6

指導内容 【年間授業計画】	物理の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
10月	過渡現象	スイッチを閉じた瞬間とじゅうぶん時間が経過した後の処理をおこない、過渡現象のグラフを定性的に理解する。	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	6
	非線形抵抗	電流-電圧特性曲線を利用して問題を解くことができる。	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	6
	中間考査			○	○		1
11月							
	磁場中における荷電粒子の運動	ローレンツ力による円運動を定量的に処理することができる。	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	6
	電流が作る磁場	ビオサウアーの法則をもとに、電流が作る磁場の公式を暗記し、問題を解くことができる。	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	6
	電流が磁場から受ける力	自由電子が磁場から受ける力の集合体が電流が磁場から受ける力（通称：電磁力）であることを理解し、問題を解くことができる。	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	6

指導内容 【年間授業計画】	物理の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
1 2 月	電磁誘導	ファラデーの法則を定性的に理解し、簡単な電磁誘導の問題を解くことができる。回路の問題については「パーペル電池の公式」を適用できるようになることを目標とする。	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	6
	交流回路	抵抗、コイル、コンデンサーの持つ回路素子の特性を理解し、電流と電圧の位相の関係を理解する。リアクタンスについては導出できることを目標とし、インピーダンスにおけるベクトル図については簡単に触れる程度とする。	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	6
	期末考査			○	○		1
1 月	光と電子	光電効果、コンプトン効果、物質波、ブラッグ反射、X線発生原理などの各現象について基本公式を覚え、問題を解けるようになる。	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	4
	原子核物理	原子核物理全般における基本事項を覚え、簡単な問題を解けるようになる。	実験観察への参加度 発問への解答 課題への取り組み 考査 等	○	○	○	5

指導内容 【年間授業計画】	物理の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
2月						
3月						

教科:(数学) 科目:(数学Ⅲ) 単位数:4単位 対象:(第3学年)  
 教科担当者:(1組:㊟)(2組:㊟)(3組:㊟)(4組:㊟)(5組:山口 ㊟)(6組:㊟)  
 使用教科書:東京書籍  
 使用教材:数学Ⅲ Standard

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
・極限・微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに關する技能を身に付けている。	・数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力を身に付けている。 ・いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとし、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。

指導内容 【年間授業計画】	数学Ⅲの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月	分数関数とそのグラフ 分数関数 $y=(ax+b)/(cx+d)$ のグラフをかくことができる。また、分数関数のグラフの特徴を理解する。	知・技・思・判・表・ 態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	3
	無理関数とそのグラフ 無理関数 $y=\sqrt{ax+b}$ のグラフをかくことができる。また、無理関数のグラフの特徴を理解する。	知・技・思・判・表・ 態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	4
5月	逆関数と合成関数 逆関数の意味を理解し、関数の逆関数を求めることや、関数のグラフからその逆関数のグラフをかくことができる。また、合成関数の意味を理解し、2つの関数の合成関数を求めることができる。	知・技・思・判・表・ 態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	4
	数列の極限 数列の収束、発散と数列の極限の基本的な性質について理解し、数列の極限を求めることができる。	知・技・思・判・表・ 態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	5
	無限等比数列 無限等比数列が収束する条件を理解し、そのことを用いて数列の極限を調べることができる。	知・技・思・判・表・ 態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	5
	無限級数 無限級数について理解し、その収束、発散を調べたり、無限級数が収束するとき、その和を求めたりすることや、無限等比級数が収束する条件を理解し、その和を求めたりすることができる。また、図形への応用や循環小数の考察を通して、その理解を深める。	知・技・思・判・表・ 態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	6
	いろいろな関数と極限 指数関数、対数関数、三角関数などの極限を調べることができる。	知・技・思・判・表・ 態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	7
	関数の連続性 関数の連続性及び中間値の定理について理解し、ある区間における実数解の存在を証明することができる。	知・技・思・判・表・ 態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	5

	指導内容 【年間授業計画】	数学Ⅲの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月							
7月	導関数	導関数の定義にしたがって、基本的な関数の導関数を求めることができる。また、導関数の基本的な性質を理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	4

	指導内容 【年間授業計画】	数学Ⅲの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	積・商の微分法	積・商の導関数について理解し、それらを用いていろいろな関数の導関数を求めることができる。また、 $n$ が整数のとき、 $(x^n)' = nx^{n-1}$ が成り立つことを理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	6
	合成関数の微分法	合成関数の微分法及び逆関数の微分法について理解し、それらを用いていろいろな関数の導関数を求めることができる。また、 $r$ が有理数のとき、 $(x^r)' = rx^{r-1}$ が成り立つことを理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	5
	三角関数の導関数	三角関数の導関数について理解し、合成関数の微分法を用いて、三角関数を含む関数の導関数を求めることができる。	知・技・思・判・表・態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	5
	対数関数・指数関数の導関数	自然対数の底 $e$ を導入し、対数関数の導関数を理解する。また、対数微分法を理解し、それを用いて、指数関数の導関数を求めることができる。	知・技・思・判・表・態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	5
	高次導関数	高次導関数について理解し、第 $n$ 次導関数を求めることができる。	知・技・思・判・表・態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	5

指導内容 【年間授業計画】	数学Ⅲの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
1 0 月	接線の方程式	曲線の接線の方程式及び法線の方程式を求めることができる。また、媒介変数で表された関数の微分について理解し、導関数を媒介変数で表したり、媒介変数で表された曲線の接線の方程式を求めたりすることができる。	知・技・思・判・表・ 態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	6
	関数の増減	平均値の定理について理解し、平均値の定理に基づいて関数の増減に関する性質を証明することができる。また、関数の増減を調べたり、関数の値の変化を調べて、極値を求めたりすることができる。	知・技・思・判・表・ 態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	5
	第2次導関数とグラフ 最大・最小	曲線の凹凸に関する性質を理解する。また、これまでに学習したことを用いている関数のグラフの概形をかくことができる。  微分法を用いて、関数の最大値・最小値を求めることができる。	知・技・思・判・表・ 態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	5
	方程式・不等式への応用	微分法や平均値の定理を用いて、不等式を証明することができる。また、方程式の実数解の個数を調べることができる。	知・技・思・判・表・ 態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	5
1 1 月	速度・加速度 近似式	運動する点の速度・加速度が導関数を用いて表現できることを理解する。  1次近似式について理解し、関数の近似式を求めることができる。	知・技・思・判・表・ 態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	4
	不定積分	不定積分の基本的な性質や公式を理解し、基本的な関数の不定積分を求めることができる。	知・技・思・判・表・ 態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	4
	置換積分法	置換積分法について理解する。また、この方法により不定積分を求めることができる。	知・技・思・判・表・ 態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	5
	部分積分法	部分積分法について理解する。また、この方法により不定積分を求めることができる。	知・技・思・判・表・ 態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	5
	いろいろな関数の不定積分	部分分数分解及び三角関数の加法定理から導かれる積を和・差に直す公式について理解する。また、これらを用いて分数関数や三角関数を変形して、不定積分を求めることができる。	知・技・思・判・表・ 態 プリント ワーク小テスト 定期考査	○	○	○	4

指導内容 【年間授業計画】	数学Ⅲの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	定積分	いろいろな関数の定積分の値を求めることができる。	○	○	○	5
	定積分の置換積分法と部分積分法 定積分で表された関数	置換積分法や部分積分法を用いて、定積分の値を求めることができる。また、偶関数と奇関数の定積分の性質を理解し、定積分の値を求めることができる。 積分と微分の関係を理解する。	○	○	○	7
1 月	定積分と区分求積法	区分求積法の考え方を理解し、和の極限值を求めることができる。	○	○	○	4
	面積 体積	いろいろな曲線で囲まれた図形の面積の求め方を理解する。また、その値を求めることができる。 立体の体積が定積分によって求められることを理解する。また、その値を求めることができる。	○	○	○	8
	曲線の長さとのり	曲線の長さが定積分によって求められることを理解する。また、その値を求めることができる。	○	○	○	4

指導内容 【年間授業計画】	数学Ⅲの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
2月						
3月						

教科:(数学) 科目:(数学演習) 単位数:2単位 対象:(第3学年)  
 教科担当者:(1組:㊟)(2組:山下 ㊟)(3組:㊟)(4組:山下 ㊟)(5組:㊟)(6組:㊟)  
 使用教科書:  
 使用教材:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
数式の公式やグラフに関する基礎的な知識を習得し、その知識を活用する技能を身につける。個々の生徒の理解力に応じた指導を行い、基礎学力の定着を図るとともに、学力の十分な伸長を目指す。	物事を数量的に捉え、筋道をたてて思考する習慣を身につけさせる。	授業を大切にし、自ら進んで学ぶ態度を育てる。個々の生徒の理解力に応じた指導を行い、基礎学力の定着を図るとともに、学力の十分な伸長を目指す。

指導内容 【年間授業計画】	数学演習の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
4月	式の計算	中学校、数学Ⅰで学んだ計算ができるようにする	プリント				4
	展開	数学Ⅰで学んだ展開の公式を使って多項式の乗法を身に付ける	プリント				4
	因数分解	数学Ⅰで学んだ因数分解の公式を使って因数分解を身に付ける	プリント				4
5月	実数	中学校、数学Ⅰで学んだ数の世界について深く理解する。	プリント				4
	復習	演習問題	プリント				2
	中間考査						
	2次関数	平方完成	プリント				4
	2次関数	グラフ	プリント				4
2次関数	最大最小	プリント				4	

	指導内容 【年間授業計画】	数学演習の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月	2次関数	2次方程式, 2次不等式	プリント				4
	復習	演習問題	プリント				2
	復習	演習問題	プリント				2
7月	期末考査						1
	復習	演習問題	プリント				2

	指導内容 【年間授業計画】	数学演習の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	図形と計量	三角比	プリント				2
	図形と計量	三角比	プリント				2
	図形と計量	三角比	プリント				2
	図形と計量	三角比	プリント				2
	図形と計量	三角比	プリント				2
	復習	演習問題	プリント				2

指導内容 【年間授業計画】	数学演習の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
中間考査						
10月	図形と計量	拡張	プリント			2
	図形と計量	拡張	プリント			2
	図形と計量	拡張	プリント			2
11月	場合の数, 確率	基本的な事象の確率が求められる	プリント			2
	場合の数, 確率	確率の基本性質を用いてさまざまな事象の確率が求められる	プリント			2
	場合の数, 確率	独立試行、反復試行の確率が求められる	プリント			2
	場合の数, 確率	期待値	プリント			2
	復習	演習問題	プリント			2

	指導内容 【年間授業計画】	数学演習の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	期末考査						1
1 月							4

指導内容 【年間授業計画】	数学演習の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
2月							
3月							





	指導内容 【年間授業計画】	受験数学の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	図形と計量	課題（図形と計量） 重要例題演習	プリント				4
	図形と計量	課題（図形と計量） 重要例題演習	プリント				4
	図形と計量	課題（図形と計量） 重要例題演習	プリント				4
	図形と計量	課題（図形と計量） 重要例題演習	プリント				4
	図形と計量	課題（図形と計量） 重要例題演習	プリント				4
	三角関数	課題（三角関数） 重要例題演習	プリント				4

指導内容 【年間授業計画】	受験数学の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
10月	三角関数	課題 (三角関数) 重要例題演習	プリント			4
	三角関数	課題 (三角関数) 重要例題演習	プリント			4
	三角関数	課題 (三角関数) 重要例題演習	プリント			4
	三角関数	課題 (三角関数) 重要例題演習	プリント			4
11月	三角関数	課題 (三角関数) 重要例題演習	プリント			4
	三角関数	課題 (三角関数) 重要例題演習	プリント			4
	三角関数	課題 (三角関数) 重要例題演習	プリント			4
	三角関数	課題 (三角関数) 重要例題演習	プリント			4
	三角関数	課題 (三角関数) 重要例題演習	プリント			4

	指導内容 【年間授業計画】	受験数学の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	三角関数	課題（三角関数） 重要例題演習	プリント				4
	三角関数	課題（三角関数） 重要例題演習	プリント				4
	三角関数	課題（三角関数） 重要例題演習	プリント				4
	三角関数	課題（三角関数） 重要例題演習	プリント				4
	三角関数	課題（三角関数） 重要例題演習	プリント				4
1 月	三角関数	課題（三角関数） 重要例題演習	プリント				4
	三角関数	課題（三角関数） 重要例題演習	プリント				4
	三角関数	課題（三角関数） 重要例題演習	プリント				4

指導内容 【年間授業計画】	受験数学の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
2月							
3月							

教科:(地歴公民) 科目:(社会探究) 単位数:2単位 対象:(第3学年)  
 教科担当者:(1組:倉田 ㊟)(2組:㊟)(3組:㊟)(4組:㊟)(5組:㊟)(6組:㊟)  
 使用教科書:高校 社会へのステップ(東京書籍)  
 使用教材:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
人間と社会のあり方について、体系的に理解をし、応用することができる。	社会の問題に対して論理的に考え、解決に導くことができる。また、問題解決のために仲間と共同しながら自分の考えを表現することができる。	社会の中の多様性を理解して、仲間との協力、自分の感情のコントロール、相手への配慮ができる。

指導内容 【年間授業計画】	社会探究の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
4月	1 地理的分野 ○世界の国々	○世界のおもな国々の名称・位置・首都名を知る。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	4
	○地球のすがた ○世界と日本のすがた	○地球のすがた ○世界と日本のすがた	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	4
5月	○日本のすかだ(都道府県)	○都道府県名とその位置を理解する。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	4
	○世界と日本の地形	○世界の地形の代表例である山脈・造山帯等の位置をとらえる。 ○日本の地形の代表例である山地・山脈・平野・川等の位置をとらえる。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	4
	○世界と日本の気候	○世界の気候について、熱帯・乾燥帯・温帯・亜寒帯(冷帯)・寒帯の分布を知る。 ○日本の気候の特色を知る。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	4
	○世界と日本の人口・資源	○世界の人口分布と変化、日本の人口と人口問題について知る。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	4
○世界の自然環境と都市	○世界の代表的な河川・砂漠・都市の位置等を知る。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	4	

	指導内容 【年間授業計画】	社会探究の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月							
	日本の国土	○日本の地形、人口、領域を知る。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	4
	日本の国土	○日本の自然、主な山・川・平野、気候の特色を知る。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	4
7月	日本の工業	○日本の工業の特色（加工貿易、工業地域、工業の種類、公害問題）について知る。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	4
	日本の農業	○日本の農業の特色（専業農家、兼業農家、問題点）について知る。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	4
	確認テスト	1学期の学習内容について理解する。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	1

	指導内容 【年間授業計画】	社会探究の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	II 公民的分野 ○日本国憲法	○日本国憲法の基本原理を知る。 ○人権と個人の尊重についての概略を知る。		○	○	○	2
	○政治	○国会・内閣・裁判所のはたらきについて知る。 ○選挙のしくみについて知る。 ○現代の行政の特色について知る。		○	○	○	2
	○経済	○企業の役割、市場と価格、金融のはたらきについて知る。		○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	社会探究の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
10月	Ⅲ 歴史的分野 ○時代区分 ○世界の古代文明	○日本の時代区分、世界の古代文明の位置を知る。		○	○	○	2
	○縄文時代 ○弥生時代	○縄文時代、弥生時代の概略について知る。		○	○	○	2
	○古墳時代 ○飛鳥時代	○古墳時代、飛鳥時代の概略を知る。		○	○	○	2
11月	○奈良時代	○奈良時代の概略を知る。		○	○	○	2
	○平安時代	○平安時代の概略を知る。		○	○	○	2
	○鎌倉時代	○鎌倉時代の概略を知る。		○	○	○	2
	○室町時代	○室町時代の概略を知る。		○	○	○	2
	○安土桃山時代	○安土桃山時代の概略を知る。		○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	社会探究の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	確認テスト	2学期の学習内容について理解する。		○	○	○	1
	○江戸時代	○江戸時代の概略を知る。		○	○	○	2
1 月							4

指導内容 【年間授業計画】	社会探究の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
2月						
3月						

教科:(社会) 科目:(世界史探究) 単位数:4単位 対象:(第3学年)  
 教科担当者:(1組:㊟)(2組:㊟)(3組:平地㊟)(4組:平地㊟)(5組:平地㊟)(6組:㊟)  
 使用教科書:山川出版社  
 使用教材:高校世界史

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探求しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	指導内容 【年間授業計画】	世界史探究の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月	オリエンテーション 学力テスト	○中学歴史・歴史総合で学習した内容の問題を解き、自己の学力や弱点を把握する。	授業への積極性・出席状況・プリント・ワーク・小テスト	○			8
	第1章 文明の成立と古代文明の特質	○自然環境と人々の関係を視点にして、人類の歴史を探究する。 ○神権政治の特色とその現代的影響を分析し、王の存在意義を探究する。 ○神権政治の特色及び他地域と共通点・相違点を分析し、王の存在意義を探究する。	授業への積極性・出席状況・プリント・ワーク・小テスト	○	○	○	8
	中間考査			○	○	○	2
5月	第2章 中央ユーラシアと東アジア世界	○騎馬遊牧民が形成・発展させた国家や社会を探究する。 ○秦・漢の皇帝が形成・発展させた国家や社会を探究する。	授業への積極性・出席状況・プリント・ワーク・小テスト	○	○	○	8
	第2章 中央ユーラシアと東アジア世界	○北方民族が変化させた中国の国家・社会について探究する。 ○隋・唐が形成した国家・社会、国際関係について探究する。	授業への積極性・出席状況・プリント・ワーク・小テスト	○	○	○	8
	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開	○仏教の南アジア諸国家への受容とその受容による文化・思想の変化を探究する。 ○ヒンドゥー教の南アジアへの定着とその定着による文化・思想の変化を探究する。	授業への積極性・出席状況・プリント・ワーク・小テスト	○	○	○	8

	指導内容 【年間授業計画】	世界史探究の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開	○東南アジア世界の文化・思想に影響を与えた中国や南アジアの影響について探究する。	授業への積極性・出席状況・プリント・ワーク・小テスト	○	○	○	8
7月	第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成	○西アジアにおいて、イラン系の人々が形成した国家・社会、文化について探究する。 ○地中海沿岸において、ギリシア人が形成した国家・社会、文化について探究する。	授業への積極性・出席状況・プリント・ワーク・小テスト	○	○	○	8
	期末考査			○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	世界史探究の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	第4章 西アジアと地中海周辺の 国家形成	○地中海を支配したローマ人が形成した社会・文化について探究する。 ○キリスト教が広がったローマ社会の特色について探究する。	授業への積極性・出席 状況・プリント・ワー ク・小テスト	○	○	○	8
	第5章 イスラーム教の成立と ヨーロッパ世界の形成	○イスラーム教の誕生と、その領域拡大の状況を分析し、イスラーム教が社会をど のように変えたのかを探究する。 ○キリスト教を基盤とするヨーロッパ世界の形成の経緯を分析し、各国ごとの特徴 を探究する。	授業への積極性・出席 状況・プリント・ワー ク・小テスト	○	○	○	8
	第6章 イスラーム教の伝播と西 アジアの動向	○イスラーム勢力の西アジア・北アフリカ・イベリア半島への拡大と影響について 探究する。 ○西アジアの王朝の変遷と特徴を分析し、イスラーム教の影響について探究する。	授業への積極性・出席 状況・プリント・ワー ク・小テスト	○	○	○	8
	第7章 ヨーロッパ世界の変容と 展開	○西ヨーロッパの世界におけるローマ＝カトリック教会の影響について探究する。 ○東ヨーロッパ世界の特色を分析し、歴史的意義を探究する。	授業への積極性・出席 状況・プリント・ワー ク・小テスト	○	○	○	10

指導内容 【年間授業計画】	世界史探究の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
中間考査			○	○	○	2
10月						
第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開  第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国	○14世紀以降の西ヨーロッパ世界の変容を分析し、探究する。 ○中世西ヨーロッパの文化の特徴を分析し、その背景となる社会事象を探究する。 ○宋とアジア諸地域のつながりや影響を分析し、宋の東アジアにおける影響力について探究する。	授業への積極性・出席状況・プリント・ワーク・小テスト	○	○	○	8
第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 第9章 大交易・大交流の時代	○モンゴル帝国の拡大と影響について分析し、モンゴル帝国の歴史的意義を探究する。 ○東アジアのや東南アジアに樹立された国家の特徴を分析し、明との関連性について探究する。 ○ポルトガルとスペインを軸にヨーロッパの海外進出を分析し、「世界の一体化」へつながる状況を探究する。	授業への積極性・出席状況・プリント・ワーク・小テスト	○	○	○	8
第10章 アジアの諸帝国の繁栄	○オスマン帝国の領域拡大の経緯を分析し、どのような統治がおこなわれたのか、その実態と影響を探究する。 ○ムガル帝国におけるヒンドゥー教徒の統治のあり方を分析し、その実態と経緯を探究する。	授業への積極性・出席状況・プリント・ワーク・小テスト	○	○	○	8
11月						

	指導内容 【年間授業計画】	世界史探究の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	第10章 アジアの諸帝国の繁栄	○清朝の漢民族への統治政策を分析し、その目的と特徴を理解する。	授業への積極性・出席 状況・プリント・ワー ク・小テスト	○	○	○	8
	期末考査			○	○	○	2
1 月	歴史新聞	○歴史人物及び歴史的な出来事を分析し、探究する。	授業への積極性・出席 状況・プリント	○	○	○	4

指導内容 【年間授業計画】	世界史探究の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
2月							
3月							

教科:(社会) 科目:(日本史探究) 単位数:4単位 対象:(第3学年)  
 教科担当者:(1組:齊藤 ㊟)(2組:齊藤 ㊟)(3組:齊藤 ㊟)(4組:㊟)(5組:齊藤 ㊟)(6組:㊟)  
 使用教科書:日本史探究  
 使用教材:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関する諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解しているとともに、調査や諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている我が国の歴史の展開に関する諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解しているとともに、調査や諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	我が国の歴史の展開に関する事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	我が国の歴史の展開に関する諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

	指導内容 【年間授業計画】	日本史探究の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月	※ 日本史の基本用語と時代区分	・ 3つの年号、6つの時代区分、各時代を知る。	授業への積極性・出席状況・ノート・プリント	○	○	○	2
	(1) 原始・古代の日本と東アジア ア 文化と国家の形成 ・ 日本の旧石器文化	(1) 原始・古代の日本と東アジア ・ 旧石器文化の特色を食料資源や使用した道具の違いによって区別できる。	授業への積極性・出席状況・ノート・プリント	○	○	○	3
	・ 大和政権の成立 ・ 倭の五王と大和政権	・ 大和政権の成立と国内統一の過程を知る。	授業への積極性・出席状況・ノート・プリント	○	○	○	4
5月	・ 古墳時代の社会と文化 ・ 氏姓制度と群集墳の出現	・ 古墳の変化から古墳時代の特色について知る。	授業への積極性・出席状況・ノート・プリント	○	○	○	4
	イ 古代国家の確立 ・ 飛鳥時代の政治と文化	・ 推古朝の政治、遣隋使の派遣や飛鳥文化の特色を知る	授業への積極性・出席状況・ノート・プリント	○	○	○	4
	・ 古代国家の形成 ・ 律令の成立と白鳳時代	・ 大化改新、壬申の乱を経て、律令に基づく国内統治体制が整備されたことを知る。	授業への積極性・出席状況・ノート・プリント	○	○	○	4
	・ 平城京と律令政治 ・ 奈良時代の社会と文化	・ 平城京遷都、遣唐使、国分寺建立や藤原氏の政界進出について知る。	授業への積極性・出席状況・ノート・プリント	○	○	○	4
	・ 国家仏教と天平文化	・ 天平文化の特色を知る。また、造寺・造仏や記紀の編纂(さん)が国家事業として進められたことを知る。	授業への積極性・出席状況・ノート・プリント	○	○	○	4
	・ 平安初期の政治と文化	・ 平安京遷都や東北経営の二大政策が進められたことを知る。 ・ 弘仁・貞観文化の特色を知る。	授業への積極性・出席状況・ノート・プリント	○	○	○	4

	指導内容 【年間授業計画】	日本史探究の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月	・摂関政治の確立	・摂関政治全盛期の藤原道長・頼通の政治について整理し、摂関政治が藤原氏による外戚政治であることを知る。	授業への積極性・出席状況・ノート・プリント	○	○	○	4
	・国風文化の成立	・仮名文字による和歌や女流文学の発達、浄土教の変容や貴族の生活などから日本の風土や生活に適合した新しい貴族文化が進化したことを知る。	授業への積極性・出席状況・ノート・プリント	○	○	○	4
	・土地制度の確立	・寄進地系荘園の発生について知る。	授業への積極性・出席状況・ノート・プリント	○	○	○	4
7月	・武士団の成立	・武士の登場について知る。	授業への積極性・出席状況・ノート・プリント	○	○	○	4
	(2) 中世の日本と東アジア 中世社会の成立 ・院政	(2) 中世の日本と東アジア ・摂関政治に代わって院政が開始されたことを知る。	授業への積極性・出席状況・ノート・プリント	○	○	○	4
	・保元の乱と平治の乱	・平氏政権の成立について知る。	授業への積極性・出席状況・ノート・プリント	○	○	○	4
	・平氏政権と治承・寿永の乱 ・鎌倉幕府の成立	・源平の争乱と鎌倉幕府の成立について知る。	授業への積極性・出席状況・ノート・プリント	○	○	○	4
	・承久の乱と執権政治	・北条氏の台頭と執権政治について知る。 ・武士社会における御成敗式目の制定について知る。	授業への積極性・出席状況・ノート・プリント	○	○	○	4

	指導内容 【年間授業計画】	日本史探究の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	・地頭の荘園支配	・武士社会における惣領制について知る。	授業への積極性・出席状況・ノート・プリント	○	○	○	4
	・元寇と鎌倉幕府の衰退	・蒙古襲来と御家人の窮乏について知る。	授業への積極性・出席状況・ノート・プリント	○	○	○	4
	・鎌倉時代の仏教と文化	・新仏教が成立したことを知る。 ・武士や庶民を題材にした文学や絵巻物が作成されたことを知る	授業への積極性・出席状況・ノート・プリント	○	○	○	4
	・鎌倉幕府の滅亡	・鎌倉幕府滅亡の過程と原因を知る。	授業への積極性・出席状況・ノート・プリント	○	○	○	4
	イ 中世社会の展開 ・建武の新政と南北朝の内乱	・建武の新政と南北朝動乱について知る。	授業への積極性・出席状況・ノート・プリント	○	○	○	4
	・室町幕府の確立	・守護大名の登場と室町幕府の成立について知る。	授業への積極性・出席状況・ノート・プリント	○	○	○	4

	指導内容 【年間授業計画】	日本史探究の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
10月	・室町時代の日本と朝鮮・中国	・勘合貿易の内容について知る。	授業への積極性・出席状況・ノート・プリント	○	○	○	4
	・北山文化	・南北朝文化、北山文化の特色を知る。	授業への積極性・出席状況・ノート・プリント	○	○	○	3
	・室町時代の流通経済の発達	・諸産業と流通や地域経済が発達したことを知る。	授業への積極性・出席状況・ノート・プリント	○	○	○	4
	・惣村と一揆 ・内乱と一揆の世	・応仁の乱後、下剋上の風潮の中で戦国大名が生まれたことを知る。	授業への積極性・出席状況・ノート・プリント	○	○	○	4
11月	・城下町の出現と分国法	・文化の地方普及と都市の形成について知る。	授業への積極性・出席状況・ノート・プリント	○	○	○	4
	・東山文化	・東山文化の特色を知る。	授業への積極性・出席状況・ノート・プリント	○	○	○	4
	(3) 近世の日本と世界 ・大航海時代の余波 ・織田信長の天下布武 ・豊臣秀吉の全国統一と対外政策	(3) 近世の日本と世界 ・織豊政権の統一事業の過程での代表的な戦いや、検地・刀狩などの国内政策や外交政策について知る。	授業への積極性・出席状況・ノート・プリント	○	○	○	4
	・桃山文化	・桃山文化の特色を知る。	授業への積極性・出席状況・ノート・プリント	○	○	○	4
	・江戸幕府の成立 ・幕府と藩の支配体制 ・年貢と身分制	・江戸時代に全国支配を行ったのは、徳川將軍を中心とした江戸幕府であることを知る。	授業への積極性・出席状況・ノート・プリント	○	○	○	4

	指導内容 【年間授業計画】	日本史探究の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	・禁教と貿易統制	・鎖国はどのような体制であったかを知る。	授業への積極性・出席状況・ノート・プリント	○	○	○	4
	・元禄の政治、正徳の政治	・元禄時代の政治や正徳の治の代表的な政策を知る。	授業への積極性・出席状況・ノート・プリント	○	○	○	4
	・産業の発達 ・都市と交通の発達	・農業中心に経済が発展し、交通や貨幣制度が整備されたことを知る。	授業への積極性・出席状況・ノート・プリント	○	○	○	4
	・町人文化と学問の発達	・元禄文化の特色を知る。	授業への積極性・出席状況・ノート・プリント	○	○	○	4
1 月							4

指導内容 【年間授業計画】	日本史探究の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
2月							
3月							

教科:(国語) 科目:(文学作品研究) 単位数:2単位 対象:(第3学年)

教科担当者:(1組:㊸)(2組:㊹)(3組:川村 ㊺)(4組:㊻)(5組:㊼)(6組:㊽)

使用教科書:

使用教材:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
①語り手、視点、時間構成などの構造や、比喩などの文章表現が作品にどう影響しているかを理解することができる。 ②作品が書かれた時代の社会情勢、思想、文学の流れを理解し、作品との関連性を把握することができる。	①テキストの細部から視點を見出し、多様な解釈を導き出すことができる。 ②同一著者の別作品や、異なるメディア(映画・演劇)、あるいは他国の文学と比較し、その共通点や特殊性を分析することができる。 ③議論の中で他者の意見を取り入れ、自分の解釈を修正したり、より高い次元へ昇華させたりすることができる。	①授業で扱った作品以外にも関心を広げ、自ら進んで文学作品を探求しようことができる。 ②自分とは異なる価値観や感性を持つ他者(登場人物やクラスメート)の存在を認め、共感的かつ客観的に理解しようすることができる。 ③文学を通して「人間とは何か」「社会はどうあるべきか」を問い直し、自分自身の生き方や価値観を豊かにしようすることができる。

	指導内容 【年間授業計画】	文学作品研究の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月	授業オリエンテーション 「走れメロス」 太宰治 「本を読んだことない32歳が初めて走れメロスを読んで見た」記事批評	・授業の進め方や評価について説明し、理解する。 ・既習「走れメロス」を改めて読み、多様な考え方捉え方を知る。	知・技・思・判・表・ 態 ワークシート			○	2
	日本文学史の流れを知る	古代から近現代までの日本文学史の流れを理解する。	知・技・思・判・表・ 態 ワークシート	○	○	○	2
5月	伝統芸能 歌舞伎・能・狂言・文楽	・引き算の美「能」と足し算の美「歌舞伎」の比較を理解する。 ・演劇装置を知る。	知・技・思・判・表・ 態 ワークシート	○	○	○	2
	日本映画の金字塔「七人の侍」	・映像による「動と静」を知る。	知・技・思・判・表・ 態 ワークシート		○	○	2
	日本映画の金字塔「七人の侍」	・映像による「動と静」を知る。	知・技・思・判・表・ 態 ワークシート		○	○	2
	「金閣寺」 三島由紀夫	・戦後の文学として滅びの美学を理解する。	知・技・思・判・表・ 態 ワークシート		○	○	2
	「変身」 カフカ	・20世紀文学の転換、世界の文学を知る。	知・技・思・判・表・ 態 ワークシート	○	○	○	2
	映画「レ・ミゼラブル」	・19世紀フランスの社会構造から生まれた作品背景を知る。 ・舞台としての役割を知る。 ・英語としての演出を分析する。	知・技・思・判・表・ 態 ワークシート	○	○	○	2
映画「レ・ミゼラブル」	・19世紀フランスの社会構造から生まれた作品背景を知る。 ・舞台としての役割を知る。 ・英語としての演出を分析する。	知・技・思・判・表・ 態 ワークシート	○	○	○	2	

	指導内容 【年間授業計画】	文学作品研究の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月	「人間椅子」江戸川乱歩	・批評の仕方を理解する。	知・技・思・判・表・ 態 ワークシート	○	○	○	2
	言語活動	・作家・作品の一つ選び、作者背景を探究する。 ・作品の批評を行う。	知・技・思・判・表・ 態 ワークシート	○	○	○	2
	言語活動	・作家・作品の一つ選び、作者背景を探究する。 ・作品の批評を行う。	知・技・思・判・表・ 態 ワークシート	○	○	○	2
7月	言語活動	・作家・作品の一つ選び、作者背景を探究する。 ・作品の批評を行う。	知・技・思・判・表・ 態 ワークシート		○	○	2
	言語活動	・作家・作品の一つ選び、作者背景を探究する。 ・作品の批評を行う。	知・技・思・判・表・ 態 ワークシート		○	○	2
	言語活動	・作家・作品の一つ選び、作者背景を探究する。 ・作品の批評を行う。	知・技・思・判・表・ 態 ワークシート		○	○	2
	夏季休業	長期休業につき授業なし					
	夏季休業	長期休業につき授業なし					

	指導内容 【年間授業計画】	文学作品研究の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月	夏季休業	長期休業につき授業なし					
	夏季休業	長期休業につき授業なし					
	夏季休業	長期休業につき授業なし					
	夏季休業	長期休業につき授業なし					
	夏季休業	長期休業につき授業なし					
9月	ジブリ「天空の城ラピュタ」	・ガリバー旅行記との内容を比較する。 ・登場人物への感情移入の効果を探る。	知・技・思・判・表・ 態 ワークシート	○	○	○	2
	「そして誰もいなくなった」アガサ・クリステイ	・ミステリーの要素を考える。 ・作家の影響力を知る。	知・技・思・判・表・ 態 ワークシート	○	○	○	2
	オペラ「カルメン」	・世界の文学に触れる。 ・原作と台本を比較する。	知・技・思・判・表・ 態 ワークシート	○	○	○	2
	オペラ「カルメン」	・世界の文学に触れる。 ・原作と台本を比較する。	知・技・思・判・表・ 態 ワークシート	○	○	○	2
	「罪と罰」ドストエフスキー	・心理描写の緻密さを理解する。	知・技・思・判・表・ 態 ワークシート	○	○	○	2
	「罪と罰」ドストエフスキー	・心理描写の緻密さを理解する。	知・技・思・判・表・ 態 ワークシート	○	○	○	2

指導内容 【年間授業計画】	文学作品研究の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
10月	「古事記」「日本書紀」	・日本統治を意識した文体、文章から伺える日本統治の目標を理解する。	知・技・思・判・表・ 態 ワークシート		○	○	2
	「スターウォーズ」	・世界規模で受け継がれる作品を知る。 ・テーマの新しさを理解する。	知・技・思・判・表・ 態 ワークシート				2
	「スターウォーズ」	・世界規模で受け継がれる作品を知る。 ・テーマの新しさを理解する。	知・技・思・判・表・ 態 ワークシート				2
	ラノベ「涼宮ハルヒの憂鬱」	・「ライトノベル」というジャンルを知る。 ・文体の違いやテーマの独自性を理解する。	知・技・思・判・表・ 態 ワークシート	○	○	○	2
11月	「容疑者Xの献身」東野圭吾	・現代ミステリーを知る。	知・技・思・判・表・ 態 ワークシート	○	○	○	2
	言語活動	・作品を一つ選び探究する。	知・技・思・判・表・ 態 ワークシート	○	○	○	2
	言語活動	・作品を一つ選び探究する。	知・技・思・判・表・ 態 ワークシート	○	○	○	2
	言語活動	・作品を一つ選び探究する。	知・技・思・判・表・ 態 ワークシート	○	○	○	2
	言語活動	・作品を一つ選び探究する。	知・技・思・判・表・ 態 ワークシート	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	文学作品研究の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	言語活動	・ 作品を一つ選び探究する。 ・ 発表を行う。	知・技・思・判・表・ 態 ワークシート	○	○	○	2
	冬季休業	長期休業につき授業なし					
	冬季休業	長期休業につき授業なし					
	冬季休業	長期休業につき授業なし					
	冬季休業	長期休業につき授業なし					
1 月	冬季休業	長期休業につき授業なし					4
	言語活動	・ 作品を一つ選び探究する。	知・技・思・判・表・ 態 ワークシート	○	○	○	2
	言語活動	・ 作品を一つ選び探究する。	知・技・思・判・表・ 態 ワークシート	○	○	○	2
	言語活動	・ 作品を一つ選び探究する。	知・技・思・判・表・ 態 ワークシート	○	○	○	
	言語活動	・ 作品を一つ選び探究する。 ・ 発表を行う。	知・技・思・判・表・ 態 ワークシート	○	○	○	2
	授業なし						

	指導内容 【年間授業計画】	文学作品研究の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
2月	授業なし						
	授業なし						
	授業なし						
	授業なし						
3月	授業なし						
	授業なし						
	授業なし						
	授業なし						
	授業なし						

教科:(国語) 科目:(文学国語) 単位数:2単位 対象:(第3学年)  
 教科担当者:(1組:相川 ㊟)(2組:相川 ㊟)(3組:相川 ㊟)(4組:川村 ㊟)(5組:川村 ㊟)  
 使用教科書:新文学国語(三省堂)  
 使用教材:学習課題集(三省堂)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
①文学的な文章を読むことを通じて、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やし、文章の中で使うことを通じて語彙を豊かにする。 ②漢字検定3級程度の漢字や語句の意味を理解する。	①、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり、深めたりすることができるようになる。 ②作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めることができるようになる。	①生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

	指導内容 【年間授業計画】	文学国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知 思 態			予定時数
				知	思	態	
4月	授業オリエンテーション	・授業の進め方や評価について説明し、理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査			○	2
	小説『月火水木金土日』 川上弘美	・作品における登場人物の役割を考慮することができる。 ・表現に即して主人公の心情を読み取ることができる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	小説『月火水木金土日』 川上弘美	・作品における登場人物の役割を考慮することができる。 ・表現に即して主人公の心情を読み取ることができる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
5月	言語活動	・作品の内容や形式について、書評を書いたり、自分の解釈や見解を基に議論したりすることができる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査		○	○	2
	物語『竹取物語』	・古典作品を読み味わい、現代との共通点または相違点を考慮することができる。 ・日本の伝統文化に関心を持つようとする意欲を育む。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査		○	○	2
	物語『竹取物語』	・『竹取物語』に描かれる、かぐや姫と翁の心情を読み取る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	『珊瑚のリング』吉本ばなな	・本文中を通読し、感想を記述することができる。 ・第一段落を読み、登場人物の置かれた状況を把握する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
『珊瑚のリング』吉本ばなな	・登場人物の心情の変化を場面に即して読み取ることができる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2	

	指導内容 【年間授業計画】	文学国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月	『珊瑚のリング』吉本ばなな	・登場人物の心情の変化を場面に即して読み取ることができる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	『珊瑚のリング』吉本ばなな	・登場人物の心情の変化を場面に即して読み取ることができる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	漢字検定	・漢字検定の過去問に挑戦する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○		○	2
7月	俳句	オリジナルの短歌や俳句を作り、発表することができるようになる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査		○	○	2
	俳句	オリジナルの短歌や俳句を作り、発表することができるようになる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査		○	○	2
	俳句	オリジナルの短歌や俳句を作り、発表することができるようになる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査		○	○	2
	夏季休業	長期休業につき授業なし					
	夏季休業	長期休業につき授業なし					

	指導内容 【年間授業計画】	文学国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月	夏季休業	長期休業につき授業なし					
	夏季休業	長期休業につき授業なし					
	夏季休業	長期休業につき授業なし					
	夏季休業	長期休業につき授業なし					
	夏季休業	長期休業につき授業なし					
9月	『こころ』 夏目漱石	・夏目漱石について、人物、前期・後期三部作など主な作品について学び理解する。 ・「こころ」全編の構成と教科書本文に至るまでのあらすじを概括的につかむ。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	『こころ』 夏目漱石	・第一段落を読み、登場人物の性格や置かれた状況をつかむ。登場人物の現状からその言動の意味を探る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	『こころ』 夏目漱石	・第一段落を読み、登場人物の性格や置かれた状況をつかむ。登場人物の現状からその言動の意味を探る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	『こころ』 夏目漱石	・第二段落を読み、登場人物の心の動きを追う。結婚を申し込む場面での、「私」の決断と実行に至る心理を読み取る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	『こころ』 夏目漱石	・第二段落を読み、登場人物の心の動きを追う。結婚を申し込む場面での、「私」の決断と実行に至る心理を読み取る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
『こころ』 夏目漱石	・第三段落を読み、登場人物の心の動きを追う。Kの自殺に至るまでの「私」の意識の志向と現実の人間関係との相関を押さえる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2	

指導内容 【年間授業計画】	文学国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
10月	『ころ』 夏目漱石	・ 第三段落を読み、登場人物の心の動きを追う。Kの自殺に至るまでの「私」の意識の志向と現実の人間関係との相関を押さえる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	意見・主張型小論文を書く	・ 『ころ』を題材に、自分の考えを整理し、400字程度の意見文を書くことができる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査		○	○	2
	『星の王子さま』	・ 登場人物のものの見方・考え方を表現に即して読み取ることができる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	『星の王子さま』	・ 登場人物のものの見方・考え方を踏まえて、自分なりの見方や考え方を文章にまとめることができる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
11月	『星の王子さま』	・ 「かけがえないもの」はどういうものか考えることを通して、自らのものの見方や考え方に取り入れようとする。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	『ピクニックの準備』 恩田陸	・ 本文中を通読し、感想を記述することができる。 ・ 第一段落を読み、登場人物の置かれた状況を把握する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	『ピクニックの準備』 恩田陸	・ 登場人物の心情の変化を場面に即して読み取ることができる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	『ピクニックの準備』 恩田陸	・ 登場人物の心情の変化を場面に即して読み取ることができる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	『ピクニックの準備』 恩田陸	・ 登場人物の心情の変化を場面に即して読み取ることができる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	文学国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	『文学の未来』	筆者の主張を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深める。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	『文学の未来』	筆者の主張を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深める。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	『文学の未来』	筆者の主張を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深める。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	2
	冬季休業	長期休業につき授業なし					
	冬季休業	長期休業につき授業なし					
1 月	冬季休業	長期休業につき授業なし					4
	意見・提案型小論文を書く	・『働く意義』を題材に、自分の考えを整理し、600字程度の意見文を書くことができる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査		○	○	2
	意見・提案型小論文を書く	・『働く意義』を題材に、自分の考えを整理し、600字程度の意見文を書くことができる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査		○	○	2
	意見・提案型小論文を書く	・『働く意義』を題材に、自分の考えを整理し、600字程度の意見文を書くことができる。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査		○	○	
	授業なし						
	授業なし						

指導内容 【年間授業計画】	文学国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
授業なし						
授業なし						
授業なし						
授業なし						
授業なし						
授業なし						
授業なし						
授業なし						
授業なし						

2月

3月

教科:(国語) 科目:(就職・短大・専門への国語) 単位数:2単位 対象:(第3学年)

教科担当者:(1組:倉部 ㊟)(2組:倉部 ㊟)(3組:倉部 ㊟)(4組:倉部 ㊟)(5組: ㊟)(6組: ㊟)

使用教科書:

使用教材:1日10分言語カードリル読む・常用漢字の1-2トライ・準拠ノート

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	指導内容 【年間授業計画】	就職・短大・専門への国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月	オリエンテーション 国語常識に関する演習	授業の進行・評価・内容について知る 常用漢字の読み書きができる (日本漢字能力検定3級程度)	知・技・思・判・表・ 態 プリント テキスト 定期考査	○	○	○	1
	論理力養成のための演習 国語常識に関する演習	順序を読む 常用漢字の読み書きができる (日本漢字能力検定3級程度)	知・技・思・判・表・ 態 プリント テキスト 定期考査	○	○	○	3
5月	論理力養成のための演習 国語常識に関する演習	具体・抽象を理解する(1) 常用漢字の読み書きができる (日本漢字能力検定3級程度)	知・技・思・判・表・ 態 プリント テキスト 定期考査	○	○	○	2
	論理力養成のための演習 国語常識に関する演習	具体・抽象を理解する(2) 常用漢字の読み書きができる (日本漢字能力検定3級程度)	知・技・思・判・表・ 態 プリント テキスト 定期考査	○	○	○	2
	論理力養成のための演習 国語常識に関する演習	常用漢字の読み書きができる (日本漢字能力検定3級程度)	知・技・思・判・表・ 態 プリント テキスト 定期考査	○	○	○	2
	論理力養成のための演習 国語常識に関する演習	具体・抽象を意識して読む(1) 常用漢字の読み書きができる (日本漢字能力検定3級程度)	知・技・思・判・表・ 態 プリント テキスト 定期考査	○	○	○	2
	論理力養成のための演習 国語常識に関する演習	具体・抽象を意識して読む(2) 常用漢字の読み書きができる (日本漢字能力検定3級程度)	知・技・思・判・表・ 態 プリント テキスト 定期考査	○	○	○	2
	進路活動への準備を調える	履歴書・エントリーシート・課題・願書等の出願書類を作成するための基礎練習を行う 日本漢字能力検定3級程度の問題が解ける	知・技・思・判・表・ 態 プリント テキスト 定期考査	○	○	○	2



	指導内容 【年間授業計画】	就職・短大・専門への国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	進路活動への準備を調える	履歴書・エントリーシート・課題・願書等の出願書類を作成するための基礎練習を行う	知・技・思・判・表・ 態 プリント テキスト 定期考査	○	○	○	2
	進路活動への準備を調える	履歴書・エントリーシート・課題・願書等の出願書類を作成するための基礎練習を行う	知・技・思・判・表・ 態 プリント テキスト 定期考査	○	○	○	2
	論理力養成のための演習 国語常識に関する演習	グラフを読む(1) 常用漢字の読み書きができる (日本漢字能力検定3級程度)	知・技・思・判・表・ 態 プリント テキスト 定期考査	○	○	○	2
	論理力養成のための演習 国語常識に関する演習	グラフを読む(2) 常用漢字の読み書きができる (日本漢字能力検定4級程度)	知・技・思・判・表・ 態 プリント テキスト 定期考査	○	○	○	2
	論理力養成のための演習 国語常識に関する演習	常用漢字の読み書きができる (日本漢字能力検定3級程度)	知・技・思・判・表・ 態 プリント テキスト 定期考査	○	○	○	2
	論理力養成のための演習 国語常識に関する演習	複数の資料を読む 常用漢字の読み書きができる (日本漢字能力検定3級程度)	知・技・思・判・表・ 態 プリント テキスト 定期考査	○	○	○	2

指導内容 【年間授業計画】	就職・短大・専門への国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
10月	論理力養成のための演習 国語常識に関する演習	対比・類比を読む(1) 常用漢字の読み書きができる (日本漢字能力検定3級程度)	知・技・思・判・表・ 態 プリント テキスト 定期考査	○	○	○	2
	論理力養成のための演習 国語常識に関する演習	対比・類比を読む(2) 常用漢字の読み書きができる (日本漢字能力検定4級程度)	知・技・思・判・表・ 態 プリント テキスト 定期考査	○	○	○	2
	論理力養成のための演習 国語常識に関する演習	論理①～主張・具体例(1) 常用漢字の読み書きができる (日本漢字能力検定5級程度)	知・技・思・判・表・ 態 プリント テキスト 定期考査	○	○	○	2
	論理力養成のための演習 国語常識に関する演習	論理②～主張・具体例(2) 常用漢字の読み書きができる (日本漢字能力検定6級程度)	知・技・思・判・表・ 態 プリント テキスト 定期考査	○	○	○	2
11月	論理力養成のための演習 国語常識に関する演習	論理③～主張・理由・具体例(1) 常用漢字の読み書きができる (日本漢字能力検定7級程度)	知・技・思・判・表・ 態 プリント テキスト 定期考査	○	○	○	2
	論理力養成のための演習 国語常識に関する演習	論理④～主張・理由・具体例(2) 常用漢字の読み書きができる (日本漢字能力検定8級程度)	知・技・思・判・表・ 態 プリント テキスト 定期考査	○	○	○	2
	論理力養成のための演習 国語常識に関する演習	論理⑤～論理の評価 常用漢字の読み書きができる (日本漢字能力検定9級程度)	知・技・思・判・表・ 態 プリント テキスト 定期考査	○	○	○	2
	論理力養成のための演習 国語常識に関する演習	論理⑥～さまざまな文章の論理をとらえる(1) 常用漢字の読み書きができる (日本漢字能力検定10級程度)	知・技・思・判・表・ 態 プリント テキスト 定期考査	○	○	○	2
	論理力養成のための演習 国語常識に関する演習	論理⑦～さまざまな文章の論理をとらえる(2) 常用漢字の読み書きができる (日本漢字能力検定11級程度)	知・技・思・判・表・ 態 プリント テキスト 定期考査	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	就職・短大・専門への国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	基本的な国語の力を養う	敬語の使い方を学ぶ。	知・技・思・判・表・ 態 プリント テキスト 定期考査	○	○	○	2
	基本的な国語の力を養う	敬語の使い方を学ぶ。	知・技・思・判・表・ 態 プリント テキスト 定期考査	○	○	○	2
	基本的な国語の力を養う	敬語の使い方を学ぶ。	知・技・思・判・表・ 態 プリント テキスト 定期考査	○	○	○	2
1 月							
	基本的な国語の力を養う	敬語の使い方を学ぶ。	知・技・思・判・表・ 態 プリント テキスト 定期考査	○	○	○	4
	基本的な国語の力を養う	敬語の使い方を学ぶ。	知・技・思・判・表・ 態 プリント テキスト 定期考査	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	就職・短大・専門への国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
2月							
3月							

教科:(国語) 科目:(受験古典) 単位数:4単位 対象:(第3学年)  
 教科担当者:(1組:㊟)(2組:㊟)(3組:㊟)(4組:㊟)(5組:倉部 ㊟)(6組:㊟)

使用教科書:精選古典探究(第一学習社)

使用教材:新精選古典文法・演習ノート(東京書籍)・古文単語330・ワークノート(文英堂)・国語図説(京都書房)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
「読むこと」の内容と関連づけながら、文語のきまりや古語の意味、訓詁のきまりなどの知識を深め、語彙を豊かにする。作品の歴史的・文化的背景について理解を深める。	古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える力を養う。書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、自分のものの見方や考え方を深める。課題に応じて調査した成果をわかりやすく発表し伝える力を身につける。	単語テスト、ワークノート提出、授業ノート提出などを通じて学びに向かう姿勢と力を養う。ペアで調べ学習をして発表する機会を設け、積極的な学びを促し協同性を養う。

指導内容 【年間授業計画】	受験古典の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月 ガイダンス・基礎学力テスト 説話『発心集』(叡実、路頭の病人を憐れむ事)	授業内容・評価の仕方の説明、授業を受ける際の注意を徹底する。 基礎学力テストを行い、昨年の授業で不十分であった部分を自覚させ学びに向かう姿勢を作る。	定期考査(知・思) 提出物(態) 単語テスト(知) 授業に向かう姿勢(態)	○	○	○	1
	仏教説話に取り上げられた人物の論理と行動を読み解く。	定期考査(知・思) 提出物(態) 単語テスト(知) 授業に向かう姿勢(態)	○	○	○	7
5月 説話『発心集』(叡実、路頭の病人を憐れむ事) 随筆『枕草子』(宮に初めて参りたるころ) 随筆『枕草子』(雪のいと高う降りたるを) 作品を読み比べる『枕草子』『十訓抄』 文法「助動詞」「助詞」 評論『毎月抄』(本歌取り)	仏教説話に取り上げられた人物の論理と行動を読み解く。 編者が語り伝えようとした価値について考察し、意見を述べる。	定期考査(知・思) 提出物(態) 単語テスト(知) 授業に向かう姿勢(態)	○	○	○	5
	日記的章段を読んで、作者の機知に富んだ人物像をとらえる。 平安時代の宮廷生活に関する理解を深める。	定期考査(知・思) 提出物(態) 単語テスト(知) 授業に向かう姿勢(態)	○	○	○	5
	日記的章段を読んで、作者の機知に富んだ人物像をとらえる。 作者と中宮定子との関係性を読み解く。	定期考査(知・思) 提出物(態) 単語テスト(知) 授業に向かう姿勢(態)	○	○	○	5
	共通部分や相違点について話し合い、まとめる。	定期考査(知・思) 提出物(態) 単語テスト(知) 授業に向かう姿勢(態)	○	○	○	4
	紛らわしい語の識別ができる。	定期考査(知・思) 提出物(態) 単語テスト(知) 授業に向かう姿勢(態)	○	○	○	6
和歌に関する多様な考え方の一端に触れ、公任が考える、世評とは異なる和歌の評価基準を理解する。	定期考査(知・思) 提出物(態) 単語テスト(知) 授業に向かう姿勢(態)	○	○	○	6	

	指導内容 【年間授業計画】	受験古典の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月	評論『毎月抄』（本歌取り）	本文を参考に、自分なりの評価基準を定めて和歌の批評をし、発表する。	定期考査（知・思） 提出物（態） 単語テスト（知） 授業に向かう姿勢（態）	○	○	○	6
7月	文法「助動詞」「助詞」	紛らわしい語の識別ができる。	定期考査（知・思） 提出物（態） 単語テスト（知） 授業に向かう姿勢（態）	○	○	○	6

	指導内容 【年間授業計画】	受験古典の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	評論『無名草子』（清少納言）	著名な作品の女性作家二人を二百年後に批評した文章を読んで、人物像にせまる。	定期考査（知・思） 提出物（態） 単語テスト（知） 授業に向かう姿勢（態）	○	○	○	6
	評論『無名草子』（紫式部）	著名な作品の女性作家二人を二百年後に批評した文章を読んで、人物像にせまる。	定期考査（知・思） 提出物（態） 単語テスト（知） 授業に向かう姿勢（態）	○	○	○	6
	「古典に見る人物評」	『無名草子』のそのほかの人物評について調べ、他作品に記された人物評と比較する。	定期考査（知・思） 提出物（態） 単語テスト（知） 授業に向かう姿勢（態）	○	○	○	6
	日記『蜻蛉日記』（うつろひたる菊）	女性による日記文学作品を読んで、自己の内面を書き綴った心情描写から、当時の結婚や女性の在り方について考える。	定期考査（知・思） 提出物（態） 単語テスト（知） 授業に向かう姿勢（態）	○	○	○	6

指導内容 【年間授業計画】	受験古典の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
10月	平安朝の結婚	『蜻蛉日記』に書かれた作者の悩みや不満が、当時の結婚形態とどのように関係するか調べ、自分の考えを発表する。	定期考査（知・思） 提出物（態） 単語テスト（知） 授業に向かう姿勢（態）	○	○	○	6
	文法「助動詞」「助詞」	紛らわしい語の識別ができる。	定期考査（知・思） 提出物（態） 単語テスト（知） 授業に向かう姿勢（態）	○	○	○	6
11月	諸家の思想（孟子）	古代中国思想について理解を深める。	定期考査（知・思） 提出物（態） 単語テスト（知） 授業に向かう姿勢（態）	○	○	○	6
	諸家の思想（老子）	古代中国思想について理解を深める。	定期考査（知・思） 提出物（態） 単語テスト（知） 授業に向かう姿勢（態）	○	○	○	6
	諸家の思想（荘子）	古代中国思想について理解を深める。	定期考査（知・思） 提出物（態） 単語テスト（知） 授業に向かう姿勢（態）	○	○	○	6
	諸家の思想（韓非子）	古代中国思想について理解を深める。	定期考査（知・思） 提出物（態） 単語テスト（知） 授業に向かう姿勢（態）	○	○	○	6



指導内容 【年間授業計画】	受験古典の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
2月							
3月							

教科:(国語) 科目:(論理国語) 単位数:2単位 対象:(第3学年)  
 教科担当者:(1組:㊟)(2組:㊟)(3組:㊟)(4組:㊟)(5組:松下 ㊟)(6組:㊟)  
 使用教科書:新 論理国語(三省堂)  
 使用教材:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

指導内容 【年間授業計画】	論理国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
4月	授業オリエンテーション	授業に必要なものの確認 授業の進め方 評価について	教科書 ワーク プリント				2
	世界のありかた	本文の妥当性や信頼性を吟味することを通して、結論を導くための根拠の在り方を捉える。	教科書 ワーク プリント ICT機器				2
5月							
	世界のありかた	本文の妥当性や信頼性を吟味することを通して、結論を導くための根拠の在り方を捉える。	教科書 ワーク プリント ICT機器				2
	中間考査						
	文章をリファームする	個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫する	教科書 ワーク プリント ICT機器				2
	文章をリファームする	個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫する	教科書 ワーク プリント ICT機器				2
	文章をリファームする	個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫する	教科書 ワーク プリント ICT機器				2
言語は色眼鏡である	主張を支える根拠や結論を導く根拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する	教科書 ワーク プリント ICT機器				2	



	指導内容 【年間授業計画】	論理国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	人類による環境への影響	具体と抽象の関係や事例の機能・意味について、理解を深めることができる	教科書 ワーク プリント ICT機器				2
	人類による環境への影響	具体と抽象の関係や事例の機能・意味について、理解を深めることができる	教科書 ワーク プリント ICT機器				2
	人類による環境への影響	具体と抽象の関係や事例の機能・意味について、理解を深めることができる	教科書 ワーク プリント ICT機器				2
	この十年をどう生きるか	具体と抽象の関係や事例の機能・意味について、筆者の主張と結びつけながら、理解を深めることができる	教科書 ワーク プリント ICT機器				2
	この十年をどう生きるか	具体と抽象の関係や事例の機能・意味について、筆者の主張と結びつけながら、理解を深めることができる	教科書 ワーク プリント ICT機器				2
	この十年をどう生きるか	具体と抽象の関係や事例の機能・意味について、筆者の主張と結びつけながら、理解を深めることができる	教科書 ワーク プリント ICT機器				2

指導内容 【年間授業計画】	論理国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
中間考査						1	
10月	プラスチックごみについて考える	事例を意見の関係づけについて、理解を深めることができる	教科書 ワーク プリント ICT機器				2
	プラスチックごみについて考える	事例を意見の関係づけについて、理解を深めることができる	教科書 ワーク プリント ICT機器				2
	プラスチックごみについて考える	事例を意見の関係づけについて、理解を深めることができる	教科書 ワーク プリント ICT機器				1
	〈自転車〉と〈映像〉の二十世紀	筆者の主張について構成や論理の展開など多角的な視点から批評する	教科書 ワーク プリント ICT機器				2
11月	〈自転車〉と〈映像〉の二十世紀	筆者の主張について構成や論理の展開など多角的な視点から批評する	教科書 ワーク プリント ICT機器				1
	〈自転車〉と〈映像〉の二十世紀	筆者の主張について構成や論理の展開など多角的な視点から批評する	教科書 ワーク プリント ICT機器				1
	〈自転車〉と〈映像〉の二十世紀	筆者の主張について構成や論理の展開など多角的な視点から批評する	教科書 ワーク プリント ICT機器				2

指導内容 【年間授業計画】	論理国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
1 2 月	期末考査					1	
	説得力のある文章を書く	多面的・多角的な視点から描いた文章を見直し、想定した反論をふまえてより説得力のある文章にすることができる	教科書 ワーク プリント ICT機器				2
	説得力のある文章を書く	多面的・多角的な視点から描いた文章を見直し、想定した反論をふまえてより説得力のある文章にすることができる	教科書 ワーク プリント ICT機器				2
	説得力のある文章を書く	多面的・多角的な視点から描いた文章を見直し、想定した反論をふまえてより説得力のある文章にすることができる	教科書 ワーク プリント ICT機器				2
1 月						4	
	「知る」ということ	自分の考えを広げたり深めたりすることができる	教科書 ワーク プリント ICT機器				1
	「知る」ということ	自分の考えを広げたり深めたりすることができる	教科書 ワーク プリント ICT機器				1
	「知る」ということ	自分の考えを広げたり深めたりすることができる	教科書 ワーク プリント ICT機器				
日本マンガのブルーオーシャン戦略	本文を批評的に読むことを通じて筆者の意図を捉える	教科書 ワーク プリント ICT機器				1	

